

平成28年度

第1回岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会議題

日 時 平成28年6月23日（木）13:30～
場 所 岡山大学本部棟6階第一会議室

1 審議事項

(1) 役員の変更について

資料1：岡山大学 Alumni（全学同窓会）役員等名簿（案）

(2) 平成27年度事業報告について

資料2：平成27年度事業報告

資料3：岡大アラムナイだより

(3) 平成27年度会計報告及び監査報告について

資料4：平成27年度会計報告および監査報告書

(4) 平成28年度事業計画について

資料5：平成28年度事業計画（案）

資料6：平成28年度収支予算（案）

資料7：平成28年度支部活動活性化支援事業 募集要項（案）

資料8：平成28年度各学部等活動支援事業 募集要項（案）

資料9：平成28年度グローバル人材育成支援事業 募集要項（案）

資料10：平成28年度岡山大学 Alumni（全学同窓会）ボランティア活動支
援金申請募集要項（案）

参 考：平成28年度社会福祉協議会ボランティア活動保険

(5) 岡山大学 Alumni（全学同窓会）ロゴマークについて

資料11：ロゴマーク選定スケジュール（案）

資料12：ロゴマーク選定委員会委員（案）

(6) 岡山大学学都基金について

資料 13 : 学都基金の推進について

2 報告事項

(1) 会費納入状況について

資料 14 : 岡山大学 Alumni (全学同窓会) 及び各学部等同窓会会費納入状況
一覧

3 その他

(1) 次回理事会、スーパーグローバルホームカミングデイ、総会の開催について

平成 28 年度第 2 回理事会 (予定)

日時 : 平成 28 年 10 月 21 日 (金) 14 : 00 ~

場所 : 岡山大学本部棟 6 階第一会議室

岡山大学スーパーグローバルホームカミングデイ 2016

日時 : 平成 28 年 10 月 22 日 (土) 9 : 10 ~

場所 : 岡山大学創立五十周年記念館および各学部等

平成 28 年度総会

日時 : 平成 28 年 10 月 22 日 (土) 9 : 50 頃 ~

場所 : 岡山大学創立五十周年記念館金光ホール

資料 15 : 岡山大学スーパーグローバルホームカミングデイ 2016 予告チラシ

資料 16 : 岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会報 第 3 号

岡山大学Alumni（全学同窓会）役員・顧問名簿

【平成27年4月1日～平成29年3月31日】

<役員>

役職名	氏名	所属等	備考
会長	小長啓一	法文経学部同窓会	
副会長	陶浪保夫	法文経学部同窓会	
〃	小谷秀成	医学部同窓会	
副会長	荒木勝	理事(社会貢献・国際担当)、副学長	
理事	阿部宏史	理事(企画・総務担当)、副学長	
〃	許南浩	理事(教育担当)、副学長	
〃	高塚成信	教育学部長	平成28年4月1日～
〃	大塚愛二	医学部長	平成28年4月1日～
〃	富田栄二	工学部長	
〃	門野八洲雄	教育学部同窓会	
〃	川本平山	理学部同窓会	
〃	浅利正二	医学部同窓会	
〃	千原敏裕	歯学部同窓会	
〃	岡本敬の介	薬学部同窓会	
〃	酒井貴志	工学部同窓会	
〃	有岡桂佑	環境理工学部同窓会	
〃	上村一雄	農学部同窓会	
〃	張紅	国際同窓会	
〃	竹原啓二	法文経学部同窓会東京支部	
〃	川本一之	法文経学部同窓会広島支部	
〃	竹崎克彦	法文経学部同窓会香川支部	
〃	藤沢芳朗	工学部同窓会関東支部	
〃	貞本和彦	医学部同窓会松山支部	
〃	小橋利美	ほおゆう(ときわ会、ほおゆう、あらたま会、助産師同窓会の輪番による持ち回り)	
監事	近藤弦之介	法文経学部同窓会	
〃	坂東靖夫	工学部同窓会	

<顧問>

役職名	氏名	所属等	備考
顧問	金光富男	岡山大学名誉会員(法文経学部同窓会)	
〃	森田潔	岡山大学学長	

平成28年度岡山大学 Alumni（全学同窓会）ボランティア活動支援事業
ボランティア活動支援金申請募集要項

平成27年6月29日

改正 平成27年10月16日

岡山大学 Alumni（全学同窓会）では、岡山大学の在学生、同窓生、教職員、教職員 OB 等が積極的にボランティア活動に参加することができるよう、支援金の支給を行います。申請はボランティア活動の参加後に行っていただくこととなりますが、参加等を証明する書類の写しが必要となりますので、参加前に本要項をご確認ください。ただし、授業の一環として参加するものは支援の対象から除きます。

■申請資格

岡山大学の在学生、同窓生、教職員、教職員 OB（団体での申請も可）

■支援対象および支援額

- (1) 当該ボランティア活動にかかるボランティア活動保険料および交通費
自己負担分を一人あたり 5,000 円を限度として支給。
- (2) 当該ボランティア活動にかかる宿泊費
必要不可欠と認められる宿泊について、自己負担分を一人あたり一泊につき 5,000 円を限度として 2 泊まで支給。

■申請方法

申請は参加後とし、次の申請書類を〔表 1〕に記載の期日までに下記提出先に提出してください。ただし、今年度卒業（修了）予定者は、卒業（修了）予定日までに提出してください。なお、同一人による申請は、原則として今年度中 2 回までとします。

- a 申請書および別紙（様式 1 及び様式 2）
- b 活動の概要がわかる書類の写し（パンフレット等）
- c ボランティア活動の参加を証明する書類の写し（活動受入証明書、参加者名簿等）
- d ボランティア活動保険加入証の写し
- e ボランティア活動の参加に要した交通費を証明する書類の写し（領収書、切符等）
※切符は、写真撮影したものでも結構ですが、金額、日付が明確にわかるものに限りませう。
- f ボランティア活動の参加に要した宿泊費を証明する書類の写し（領収書等）
- g 岡山大学又は他機関から経費の一部を支弁された場合は、その支援額及び用途のわかる書類の写し（団体申請の場合は、活動に係る収支決算書でも可）
- h 振込申出書（別添様式）

※ e、f、g は該当する場合のみ提出

■申請書類提出先（問い合わせ先）

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号 岡山大学 総務・企画部 総務課内(本部棟4階)

TEL：086-251-7019 FAX：086-251-7294 E-mail：ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp

※提出は、持参の他、郵送、学内便等でも結構です。

■申請に対する結果通知

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局において、当該申請が支援金の申請要件に該当することを確認した後、原則として、〔表1〕に記載の日までに申請者に対して通知します。

■その他

- ・この支援金の支給は、原資がなくなった時点で終了します。また、申請者多数の場合は、遠方の活動に参加した方への支給を優先する場合があります。
- ・申請書類に記載された個人情報、本事業以外の目的には使用せず、取扱いには充分注意します。ただし、支援金が支給されることとなった方については、申請書類に記載された内容を、広報誌、ホームページ等、Alumni および岡山大学の広報活動で使用させていただくことがあります。（電話番号、メールアドレスは除く。）また、Alumni 会報の報告原稿執筆および Alumni 総会等で報告発表を行っていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

〔表1〕

	対象期間 (活動に参加した最終日が属する期間)	申請書提出期日※	申請に対する 結果通知
平成28年度 (第1回) 募集	平成28年4月～ 平成28年9月	平成28年10月14日(金)	平成28年11月末頃
平成28年度 (第2回) 募集	平成28年10月～ 平成29年3月	平成29年4月14日(金)	平成29年5月末頃

※学生の方で、今年度卒業(修了)予定者は、卒業(修了)予定日までに提出してください。

■岡山大学 Alumni（全学同窓会）とは？

岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、学生の皆さんや、同窓生、教職員、教職員 OB の方々を会員とする組織です。岡山大学と連携協力しながら、岡山大学の発展と社会への貢献に寄与すること及び会員相互の交流と親睦を図ることを目的として設立されました。

岡山大学 Alumni（全学同窓会）の運営は、会員の皆様の会費で賄われており、このボランティア活動支援事業も会員の皆様の支援により実現しました。

岡山大学 Alumni（全学同窓会）ホームページ

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/index.html>

(様式1)

平成〇〇年度 (第〇回)
岡山大学 Alumni (全学同窓会) ボランティア活動支援金申請書

平成 年 月 日

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会長 殿

氏 名 : 印

電 話 番 号 :

住 所 :

E - m a i l :

私は、このたびボランティア活動に参加しましたので、下記の添付書類とともにボランティア活動支援金の支給を申請します。

記

*添付書類

- a 申請書別紙 (様式2)
- b 活動の概要がわかる書類の写し (パンフレット等)
- c ボランティア活動の参加を証明する書類の写し (活動受入証明書、参加者名簿等)
- d ボランティア活動保険加入証の写し
- e ボランティア活動の参加に要した交通費を証明する書類の写し (領収書、切符等)
※切符は、写真撮影したものでも結構ですが、金額、日付が明確にわかるものに限りません。
- f ボランティア活動の参加に要した宿泊費を証明する書類の写し (領収書等)
- g 岡山大学又は他機関から経費の一部を支弁された場合は、その支援額及び用途のわかる書類の写し (団体申請の場合は、活動に係る収支決算書を作成している場合はその書類)
- h 振込申出書 (別添様式)

※ e、f、g は該当する場合のみ提出

(様式2) 申請書別紙

ふりがな 氏 名	
生年月日	大・昭・平 年 月 日
身 分	<input type="checkbox"/> 在学学生 <input type="checkbox"/> 同窓生 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 教職員 OB
岡大における所属	
申請区分 他	<input type="checkbox"/> 個人 今回参加した受入（活動主催）団体の名称（該当がある場合のみ記入）： <input type="checkbox"/> 団体 自らが所属している団体の名称：
活動の名称	
活動に参加した期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
活動内容および目的	
活動の参加により得た 知見、成果、報告	
今後の抱負	

平成 27 年度事業報告

1. 理事会、総会

- ・平成 27 年度第 1 回理事会開催（平成 27 年 6 月 29 日）
- ・平成 27 年度第 2 回理事会開催（平成 27 年 10 月 16 日）
- ・第 3 回総会開催（平成 27 年 10 月 17 日）
- ・平成 27 年度理事会（メール会議）開催（平成 28 年 1 月 4 日）

2. 支部の設立

- ・広島支部設立（平成 27 年 9 月 25 日 設立総会開催）

3. 支部活動活性化支援事業

- ・募集、審査、支援の実施
- ・支援実績 3 件 東京支部 196,206 円
愛媛県支部 200,000 円
広島支部 200,000 円

4. グローバル人材育成支援事業

- ・岡山大学グローバル・パートナーズの協力を得て、募集、審査、支援の実施
- ・支援実績 合計 7 件 247,600 円
（内訳 グローバル人材自己啓発奨励金事業：4 件 計 180,000 円
グローバル教育活動支援事業：3 件 計 67,600 円）

5. 会報

- ・第 3 号発行
- ・各学部等同窓会の協力を得て、同窓生へ順次配付（在学生、教職員へは、メール配信）

6. ニュースレター「岡大アラムナイだより」

- ・「岡大アラムナイだより」を発行（第 3 号、第 4 号、第 5 号、第 6 号を発行）
- ・ホームページに掲載するとともに、会費納入者への礼状に同封し配付

7. ホームページ

- ・各種新着情報を随時発信

8. 会費納入依頼等

- ・会費納入依頼のリーフレット・振込用紙の配付等
 - 平成 27 年度新入生：入学案内冊子とともに配付
 - 平成 27 年度卒業生：学位授与式終了後に配付
 - 同窓生：会報とともに配付
 - 教職員：新規採用者を中心に配付
- ・会費納入依頼アナウンス等（平成 26 年度入学式および卒業式等）
- ・会費未納者への再依頼の実施（8 月）
- ・会費納入者への礼状発送（7～8 月）
- ・会費納入依頼の効果的な周知方法の検討（リーフレット作成、配付方法、アナウンスのタイミング等）

9. 会費管理システム

- ・システムの改善

10. 会員ネットワークシステム「岡大アラムナイネット」

- ・「岡大アラムナイネット」を導入、運営を開始
- ・登録周知（平成 27 年度卒業生、教職員等）
- ・登録者数：平成 27 年度末現在 305 名
- ・ニュースリスト（新着ニュース）、お知らせリスト（イベント開催情報）を随時更新

11. 行事開催支援

- ・岡山大学スーパーグローバルホームカミングデイ 2016 の開催周知の協力
（各学部等同窓会の協力を得て、Alumni 会報と一緒にスーパーグローバルホームカミングデイのチラシを配付するとともに、ホームページ等でも学内外へ周知）

岡山大学の同窓生、在學生、教職員、教職員OBの皆様へ

平成28年5月発行

岡山大学 ^{アラムナイ} Alumni (全学同窓会)

Alumniの動き

■Alumni 広島支部「第1回学部横断懇話会」を開催しました



平成28年3月17日(木)、広島市内のホテルグランヴィア広島において、Alumni 広島支部として初めてのイベント「第一回学部横断懇話会」を開催しました。

このイベントは、Alumni 活動の趣旨と目的を広島県内の会員の皆さんに理解いただき、広島支部活動にご協力やご支援をいただくために開催しました。

当日は、岡山大学から副学長の荒木勝氏が参加、また県内各地からも多くの会員が参加し、和気あいあいとした和やかな会となりました。懇話会は卓話形式の会として

開催し、川本広島支部代表幹事、荒木、村上副代表幹事より、貴重な体験談や最新の話題が情報提供されました。懇親会では、県内に多くの岡山大学卒業生が活躍していることを実感しながら、会員同士が交流を深め、旧交を温めました。Alumni 広島支部の活動を理解いただくため、この「学部横断懇話会」を継続的に県内各地で開催していく予定です。

http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/pdf/hiroshimashibu_h28_0317_houkoku.pdf

■平成27年度(第2回) Alumni グローバル人材育成支援を実施

Alumni は、岡山大学が取り組むグローバル人材育成をより推進するため、できるだけ多くの学生が海外留学や大会参加等に挑戦することができるよう、経費の全額または一部を支援しています。

このたび平成27年度(第2回)の審査等を行った結果、グローバル人材自己啓発奨励金1名、グローバル教育活動支援金10名、計11名の学部学生・大学院生の方へ支給することになりました。

今回の支援を糧に、学生の皆さんの今後益々の活躍を期待しています。

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/12.html>

■平成28年度 Alumni 東京支部総会開催のお知らせ



Alumni 東京支部総会を、7月30日(土)13時30分より、学士会館(東京都千代田区)で開催します。総会の後、Alumni・学部同窓会合同交流会も予定しております。岡山大学の同窓生であれば卒業学部は問いませんので、学部・学科をこえた交流を深めていただけますよう、皆様ぜひご参加ください。

総会・交流会に関する詳細および申込み方法については、次のURLをご覧ください。

(昨年の様子)

http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/news1_20160531.html

■「おかやま地域発展協議体」の設立式を実施



本学が構成メンバーに含まれる「おかやま地域発展協議体」（委員長：荒木勝本学理事・副学長）は4月19日、津島キャンパスで設立式を実施し、学内外から同協議体の委員ら約40人が参加しました。

同協議体は、岡山県内の産官学民が連携、協働して地域が抱える種々のニーズや課題に関する検討・研究を行うプラットフォームとして4月1日に設立。本学以外に、岡山県商工会議所連合会、（一社）岡山経済同友会、岡山県、岡山市、倉敷市、中国銀行、山陽新聞社で構成されています。

設立式では、森田潔学長らが、協議体の事務局を務める本学地域総合研究センターの入り口に看板を上掲しました。

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id5706.html

■異分野基礎科学研究所を新設 基礎科学分野で世界トップ100へ

本学は4月1日、本学の強みである「物理学」と「基礎生命科学」の研究基盤を強化するため「異分野基礎科学研究所」（Research Institute for Interdisciplinary Science）を津島キャンパスに新設しました。

本研究所は、量子宇宙・ニュートリノ研究、光合成ー構造生物学、超伝導材料・デバイス科学研究を一体的に進め、基礎物理学から基礎生命科学

を貫く異分野交流の視点をもって基礎科学分野の研究を推進します。また、世界トップレベルの大学・研究所との国際共同研究の推進によって、新たなイノベーションを生み出し、物理学・生命科学分野において世界トップ100位入りを目指します。

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id367.html



■惑星物質研究所を開所 宇宙で採取した物質の解析技術で世界をリード



本学は4月1日、旧地球物質科学研究センター（鳥取県三朝町）の活動を国際共同研究教育拠点として一層活性化させるため、組織体制を拡充。同センターを国際共同研究拠点「惑星物質研究所」（Institute for Planetary Materials）へと改組しました。

本研究所では、生命の起源に関わる物質科学ならびに流体関連物質科学という新しい研究分野を加え、より広範かつ統一的な地球・惑星物質科学を開拓・実践し、国内外の研究者の集う「場」の提供と、それを活かした国際的環境における大学院教育をより強力に推進します。

また、本研究所は4月8日、小惑星探査機「はやぶさ2」が2020年に地球に持ち帰る予定の試料解析などで協力体制を強めることを狙いに、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）宇宙科学研究所と連携協定を締結。本連携協定では、太陽系探査ミッション、小惑星などのサンプルリターンミッションに関連する物質科学研究を推進する実効的な研究協力体制を構築し、次世代研究人材の育成・活用に向けた活動を両者の緊密な連携のもと精力的に実施していきます。

http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id366.html

【発行元】

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号（岡山大学 総務・企画部 総務課内）

Tel：086-251-7019 E-mail：ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp（◎は@に置き換えてください。）

Alumni ホームページ <http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>

平成27年度岡山大学 Alumni(全学同窓会)会計報告

岡山大学Alumni(全学同窓会)の平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度の会計報告をいたします。

収支計算書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

【収入の部】

費目等	決算額	備考
前年度繰越	24,338,697	
会報作成費	75,000	Alumni会報広告掲載料
会費収入	21,509,408	
受入利息	5,685	
収入合計	45,928,790	

【支出の部】

費目等	決算額	備考
事務局運営費	2,148,887	
会報発行費	5,568,799	
支部支援費	769,151	
グローバル人材育成支援費	247,600	
ボランティア活動支援費	0	
就職活動支援費	0	
広報活動費	712,816	
会費管理システム運営費	0	理事裁量経費より支出
会員ネットワークシステム運営費	495,314	
ホームページ運営費	0	
行事支援費	855,900	
会費収入	56,000	重複納入分等の返金
予備費	0	
支出合計	10,854,467	

【収入-支出】

次年度繰越	35,074,323	
-------	------------	--

平成28年4月6日

岡山大学Alumni(全学同窓会)事務局長 荒木 勝



監 査 報 告 書

平成28年 4 月 20 日

岡山大学 Alumni(全学同窓会)

会長 小長 啓一 殿

平成27年度の現金出納簿及び収支明細書等に基づき監査した結果、適正であると認めます。

岡山大学 Alumni(全学同窓会)

監事 近藤 弦之介



監事 坂東 靖夫



平成 28 年度事業計画(案)

1. 総会、理事会

- ・平成 28 年度第 1 回理事会開催（平成 28 年 6 月 23 日（木））
- ・平成 28 年度第 2 回理事会開催（平成 28 年 8 月 メール会議）
- ・平成 28 年度第 3 回理事会開催（平成 28 年 10 月 21 日（金））
- ・平成 28 年度総会開催（平成 28 年 10 月 22 日（土））

2. 支部の設立

- ・各地区への支部設立の検討（大阪、名古屋、高松 他）

3. 支部活動活性化支援事業

- ・1 企画あたり最大 2030 万円（年間 5 件程度）
- ・募集、審査、支援の実施

4. 各学部等活動支援事業

- ・各学部が実施するホームカミングデイの活動支援 各学部 10 万円以内（毎年）
- ・募集、審査、支援の実施

5. グローバル人材育成支援事業

- ・岡山大学グローバル・パートナーズの協力を得て、募集、審査、支援の実施
- ・予算規模 計 2,000,000 円
（内訳 グローバル人材自己啓発奨励金事業：1,500,000 円
グローバル教育活動支援事業：500,000 円）

6. ボランティア活動支援事業

- ・学生のボランティア活動に対し、ボランティア活動保険の加入保険料、交通費、宿泊費を負担

7. 就職活動支援事業

- ・岡山大学キャリア開発センター＝岡山大学全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター キャリア・学生支援室が主催するイベントの支援
（中央官庁訪問ツアー、首都圏プレインターンシップ、講演会等）

8. 会報

- ・第 4 号発行
- ・各学部等同窓会の協力を得て、同窓生へ順次配付（在学生、教職員へは、メール配信）

9. ニュースレター「岡大アラムナイだより」

- ・「岡大アラムナイだより」発行（第7～10号）

10. ホームページ

- ・各種新着情報を随時発信
- ・ホームページの整備、充実

11. 会費納付依頼等

- ・会費納入依頼リーフレットの作成、配付および効果的な周知方法の検討
- ・会費納入依頼の実施（平成27年度新入生および卒業生、教職員OB他）
- ・会費納入依頼アナウンス等（平成27年度入学式および卒業式等）
- ・会費未納者への再依頼の実施（8月）
- ・会費納入者への礼状発送（7～8月）
- ・会費納入者の顕彰（ホームページへご芳名を掲載 ※了解を得た方のみ）

12. 会費管理システム

- ・システムの改善

13. 会員ネットワークシステム「岡大アラムナイネット」

- ・登録周知（平成28年度卒業生、教職員、教職員OB等）
- ・登録者へのメッセージ配信
- ・ニュースリスト、お知らせリスト（イベント開催情報）を随時更新
- ・システム改善
- ・操作マニュアル等の見直し

14. 行事開催支援

- ・岡山大学スーパーグローバルホームカミングデイ2017開催周知の協力
（各学部等同窓会の協力を得て、Alumni会報と一緒にホームカミングデイのチラシを
配付。ホームページ等で学内外へ周知。）
- ・同窓生と学生の交流企画を中心に、経費的な支援の実施

平成28年度岡山大学Alumni(全学同窓会)収支予算(案)

【収入】

費目等	H28予算額(円)	備考
前年度繰越	35,074,323	
会費	17,500,000	
受入利息	5,000	
合計	52,579,323	(A)

【支出】

費目および内訳	H28予算額(円)	備考
事務局運営費	人件費(事務局員)	3,100,000 非常勤職員2名
	旅費交通費(事務局員)	800,000 支部設立打ち合わせ等
	旅費交通費(役員)	400,000 理事会2回、総会1回開催見込み
	消耗品費	50,000
	備品費	50,000
	報酬・委託・手数料	30,000 支払手数料等
	計	4,430,000
会報発行費	作成費	2,500,000
	封入・発送費	4,500,000
	計	7,000,000
支部支援費	活動活性化支援	1,500,000 1件につき最大300,000円(年間5件程度)
	設立支援	500,000 会場借料等
	計	2,000,000
各学部等活動支援費	1,000,000	各学部が実施するホームカミングデイ活動支援 各学部100,000円以内(毎年)
グローバル人材育成支援費	2,000,000	グローバル人材自己啓発奨励事業 1,500,000円 グローバル教育活動支援事業 500,000円
ボランティア活動支援費	200,000	1件につき最大15,000円(年間20件程度)
就職活動支援費	1,000,000	全学教育・学生支援機構 学生総合支援センター キャリア・学生支援室主催イベント支援(中央官庁訪問ツアー、首都圏プレインターンシップ、講演会等)
広報活動費	1,100,000	リーフレット作成代 600,000円 会費納入・再依頼・礼状等の発送代 500,000円
ロゴマーク作成費	200,000	賞金100,000円、学生謝金、補正費、使用基準作成
会費管理システム運営費	200,000	システム改善費
会員ネットワークシステム運営費	600,000	年間利用料 500,000円 システム改善費 100,000円
ホームページ運営費	100,000	システム改善費
行事支援費	1,500,000	ホームカミングデイ開催支援
予備費	300,000	
合計	21,630,000	(B)
次年度繰越見込額	30,949,323	(A)-(B)

平成 28 年度 岡山大学 Alumni（全学同窓会）支部活動活性化支援事業 募集要項（案）

岡山大学 Alumni（全学同窓会）支部活動活性化支援事業は、支部組織の活動の活性化に資する企画を Alumni の予算により支援するものです。本要項により、支援対象企画を募集します。

1. 申請対象となる支部：

岡山大学 Alumni（全学同窓会）が設置する支部

2. 申請対象となる企画：

支部会則に規定する事業の企画で、平成 29 年 3 月 31（金）までに完了するもの。当面は、支部設立に向けた活動も対象とする。ただし、他の会費等から予算措置されるものは除く。

（対象となる企画の例）

- ・学部間交流、異業種交流の実現、全国的な情報交流
- ・アクティブ会員を増やす活動
- ・大学の産官学連携機構との交流等付加価値の高い Alumni 支部づくり
- ・支部立ち上げ世話人会の開催

3. 申請条件：

複数の学部の同窓生等で構成されたグループによる企画又は複数の学部等同窓会による共同の企画で、企画の参加者を 10 名以上確保できること。

4. 支援額：

1 企画あたり最大 ~~20~~ 30 万円（年間 5 件程度）

5. 申請方法：

下記の書類を、平成 28 年 9 月 16 日（金）までに提出すること。メールによる提出も可。

- ・支部活動活性化支援事業申請書（様式 1）
- ・企画内容が確認できる書類（写しでも可）

6. 選考方法及び結果通知：

岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会において選考を行い、平成 28 年 10 月下旬頃に結果を通知する。

7. 支援金の交付等：

採択の通知を受けた場合は、企画実施に必要な物品等の見積書、納品書、請求書等を平成 29 年 2 月 28 日（火）までに Alumni 事務局へ提出すること。後日、Alumni 事務局から業者等へ支払いを行う。

※やむを得ず立替払いをする必要のある場合は、領収書、立替払い請求書を提出すること。

8. 実施報告

企画実施完了後、下記の書類等を平成29年4月14日（金）までに Alumni 事務局へ提出すること。（メール提出可）

- ・実施報告書（様式2）
- ・企画を実施したことが確認できる書類および写真（複数枚）

9. その他

申請書および報告書等に記載された個人情報、本事業以外の目的には使用せず、取扱いには充分注意します。ただし、採択された企画については、申請書および報告書等の内容を、広報誌、ホームページ等、Alumni および岡山大学の広報活動で使用させていただくことがあります。（ただし、住所、電話番号、メールアドレスは除く。）また、Alumni 会報の報告原稿執筆および Alumni 総会等で報告発表を行っていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

10. 申請書等、各種書類の提出先（問い合わせ先）：

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号（岡山大学 総務・企画部 総務課内）

Tel : 086-251-7019 Fax : 086-251-7294

E-mail : ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp

(様式1)

平成○年度岡山大学 Alumni (全学同窓会) 支部活動活性化支援事業 申請書

支 部 名	
代表幹事氏名	
担当者氏名	

企画名					
参加予定人数	同窓生 名、在学生 名、教職員 名、その他 名 (計 名)				
企画の概要					
企画の目的、必要性、期待される効果 (成果)					
必要額の内訳	項目	数量	単価(円)	金額(円)	備考
	支部負担額または自己収入				
	計				

(様式2)

平成〇年度岡山大学 Alumni (全学同窓会) 支部活動活性化支援事業 実施報告書

支 部 名	
代表幹事氏名	
担当者氏名	

企画名					
参加人数	同窓生 名、在学生 名、教職員 名、その他 名 (計 名)				
企画の概要					
企画実施の 効果 (成果)、 今後の展望					
支援金 執行の内訳	項目	数量	単価(円)	金額(円)	備考
	計				

資料 8

平成 28 年度岡山大学 Alumni（全学同窓会）各学部等活動支援事業 【学部ホームカミングデイ支援】募集要項（案）

■趣旨および目的

岡山大学では、同窓生にふたたび本学に足をはこんでいただき、大学の近況にふれ、恩師や同窓生、在学生との交流・親睦を深めていただくため、ホームカミングデイを平成 23 年から開催しています。平成 25 年に設立された岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、岡山大学ホームカミングデイと密接な連携を図っており、後方支援を続けております。この度、岡山大学がより一層の交流の輪を拡充していただくことを目的として、学部で実施するホームカミングデイを支援することといたしました。

■申請条件：学部で実施するホームカミングデイ事業

■支援金の対象となる事項

- ・パンフレット、ポスター、チラシ等印刷物
- ・交流会等で必要な文房具、ペットボトル等
- ・講演会実施の際の講師への謝金
- ・その他

■支援額：各学部 10 万円以内（各年度）

■経費の支払いおよび必要書類について

- ・パンフレット、文房具等は、岡山大学 Alumni（全学同窓会）から業者へ直接支払います。

必要書類 請求書、納品書、パンフレット等 1 枚、文房具等写真

*パンフレット等を早く印刷し、業者へ支払いをしなければならない場合は、要相談。（立て替え払い等の方法も可）

- ・講演謝金は、岡山大学 Alumni（全学同窓会）から講師へ直接支払います。

必要書類 支給額算定調書（源泉徴収）、講演内容がわかるもの（講師、時間等）
旅費等の振込申出書（指定様式）

■申請方法：

申請は事後とし、10月31日（月）までに申請書類を下記提出先に提出する。

（期日までに提出できない場合は、ご相談ください。）

■申請書類提出先：

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号（本部棟4階 総務・企画部総務課内）

TEL：086-251-7019

■その他：

申請書類に記載・添付された個人情報は、本事業以外の目的には使用せず、取扱いには充分注意します。

平成〇〇年度
岡山大学 Alumni（全学同窓会）各学部等活動支援事業
【学部ホームカミングデイ支援】 申請書

平成 年 月 日

岡山大学 Alumni（全学同窓会）会長 殿

岡山大学〇〇学部長

○ ○ ○ ○

この度、本学部において別紙のとおり「〇〇学部ホームカミングデイ」を開催しましたので、岡山大学 Alumni（全学同窓会）各学部等活動支援事業【学部ホームカミングデイ支援】の支給を申請します。

申請書別紙

区 分	内 訳
○○学部ホームカミングデーの概要	実施日 平成 年 月 日
参加者数	同窓生 人 在学生 人 教職員 人 教職員OB 人 その他 人
経費	(例) ○パンフレット印刷 000部×@00 = 00,000円
その他	

岡山大学 Alumni（全学同窓会）グローバル人材育成支援事業
事務要領（案）

平成28年〇月現在

岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、事業の大きな柱として学生支援を掲げており、その一環としてグローバル人材育成支援事業を実施します。岡山大学が取り組むグローバル人材育成をより推進し、できるだけ多くの学生が海外留学や大会参加等に挑戦することができるよう、下記の二つの事業により、経費の全額または一部を Alumni が支援します。

【グローバル人材自己啓発奨励事業】

- ・詳細は、別添募集要項のとおり
- ・スケジュール、担当等

	第1回	第2回	担当等
対象期間 ※	4月～9月	10月～3月	—
募集	10月中旬締切	4月中旬締切	グローバル・パートナーズ
選考	10月下旬	4月下旬	グローバル・パートナーズ
選考結果通知	11月上旬	5月上旬	グローバル・パートナーズ→Alumni
	11月末頃	5月末頃	Alumni→学生
奨励金支給	11月末頃	5月末頃	Alumni→学生

※ 学生が、大会等に参加した最終日が属する期間

【グローバル教育活動支援事業】

- ・詳細は、別添募集要項のとおり
- ・スケジュール、担当等

	第1回	第2回	担当等
対象期間 ※	4月～9月	10月～3月	—
申請	10月中旬締切	4月中旬締切	グローバル・パートナーズ→Alumni
回答通知	11月末頃	5月末頃	Alumni→グローバル・パートナーズ Alumni→学生
支援金支給	11月末頃	5月末頃	Alumni→学生

※ 学生が、行事等に参加した最終日が属する期間

平成28年度岡山大学 Alumni（全学同窓会）グローバル人材育成支援事業
【グローバル人材自己啓発奨励事業】募集要項（案）

■趣旨および目的：

平成25年に設立された岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、その事業の大きな柱として学生支援を掲げており、就職支援やグローバル人材育成支援の実施に向けて取り組んでいます。本事業は、自己のグローバル化に向けた自己啓発活動の一環として、異文化理解やコミュニケーション能力の向上に資する大会等に参加した学生に対し、奨励金を支給することにより、学生の自己啓発を促進し、岡山大学の学生全体のグローバル化を推進することを目的としています。

■申請資格：岡山大学の学部学生

■奨励金の対象となる大会等：（申請区分）

次のいずれかに該当するもの。ただし、授業の一環として参加するもの、当該国への留学中に参加するもの、休学中に参加するもの及び他機関から経費の全部又は一部を支弁されるものを除く。

- 1 独立行政法人の海外事務所、国際機関又は外国の公的機関における海外インターンシップ
- 2 海外（または国内）で実施するボランティア活動等で、以下の団体等が主催するもの（国内の場合、使用言語は英語で、外国人と共に活動するものに限る）
 - ①一般法人（社団法人、財団法人など）、公益法人
 - ②NPO法人
 - ③民間企業等の法人格を有する団体
 - ④法人格を有しないが、活動実施の体制が整っている団体（実行委員会組織等を含む）
- 3 国内（中国・四国・近畿地区を除く。）又は外国で開催される国際ユースカンファレンス等（いずれも使用言語は問わない。）で、各省庁、独立行政法人若しくは国際機関等が主催若しくは後援するもの又は外国の公的機関が主催するもの
- 4 国内（中国・四国・近畿地区を除く。）で開催されるディベート大会、プレゼンテーションコンテスト等（いずれも使用言語は問わない。）で、各省庁、独立行政法人、地方公共団体又は各国大使館・領事館等が主催するもの

■奨励金支給額：（地域区分）

- | | | | |
|------|---|-------------|------|
| 国外開催 | 1 | 欧州・アフリカ・中南米 | 15万円 |
| | 2 | 北米・オセアニア | 10万円 |
| | 3 | アジア | 7万円 |
| 国内開催 | 4 | | 2万円 |

ただし、予算の都合により減額をすることがある。また、多数の申請があった場合は、自ら発表を行ったものを優先する。

■支援件数：年間15件程度（年間予算規模約150万円）

■申請方法：

申請は事後とし、次の申請書類を〔表1〕に記載の期日までに下記提出先に提出する。なお、一人あたりの年間申請件数は2件までとする。

- a 申請書（様式1および様式2）
- b 大会等の概要がわかる書類の写し（パンフレット等）
- c 大会等で体験した内容等のレポート（指定様式なし）
- d 大会等への参加を証する書類の写し（大会参加者名簿等）
- e 振込申出書（別添様式）

■申請書類提出先：

岡山大学グローバル・パートナーズ事務部
〒700-8530 岡山市北区津島中二丁目1番1号（一般教育棟C棟1階西）
TEL：086-251-8569

■選考方法：申請書類により選考

■選考結果：申請者に対して通知予定

■その他：

申請書類に記載された個人情報、本事業以外の目的には使用せず、取扱いには充分注意します。ただし、奨励金が支給されることとなった方については、申請書類に記載された内容を、広報誌、ホームページ等、Alumniおよび岡山大学の広報活動で使用させていただくことがあります。（電話番号、メールアドレスは除く）また、Alumni会報の報告原稿執筆およびAlumni総会や岡山大学が開催又は参加する報告会等で報告発表を行っていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

〔表1〕

	対象期間 (大会等に参加した 最終日が属する期間)	申請書提出期日	選考結果通知
平成28年度 (第1回)募集 ※1	平成28年4月～ 平成28年9月	平成28年10月14日(金)	平成28年11月末頃
平成28年度 (第2回)募集 ※2	平成28年10月～ 平成29年3月	平成29年4月14日(金)	平成29年5月末頃

※1 平成28年6月卒業、平成28年9月卒業（予定）者も応募可。ただし、大会等に参加した最終日が卒業（予定）日以前であること。

※2 平成28年12月卒業（予定）、平成29年3月卒業（予定）者も応募可。ただし、大会等に参加した最終日が卒業（予定）日以前であること。

(様式1)

※学部在学時の指導教員

指導教員認印

平成〇〇年度（第〇回）

岡山大学 Alumni（全学同窓会）グローバル人材自己啓発奨励金事業 申請書

平成 年 月 日

岡山大学 Alumni（全学同窓会）会長 殿

氏 名：

電 話 番 号：

E - m a i l：

私は、下記のとおり、自己のグローバル化に向けた自己啓発活動の一環として国際学生会議等に参加しましたので、下記の添付書類とともに自己啓発奨励金の支給を申請します。

記

*添付書類

- a 申請書別紙（様式2）
- b 大会等の概要がわかる書類の写し
- c 大会等で体験した内容等のレポート（指定様式なし）
- d 大会等への参加を証する書類の写し（大会参加者名簿等）
- e 振込申出書

(様式2) 申請書別紙

学部・学科・学年	学部	学科	年
氏名			
学生番号			
卒業(予定)年月日 ※1	平成	年	月 日
申請区分 ※2			
地域区分 ※2			
大会等の名称			
開催地			
参加した期間	平成	年	月 日 ~ 平成 年 月 日
大会等の概要 (参加人数、外国人の割合 等も記載してください)			
参加の目的			
参加等により得た知見、 成果、報告			
今後の抱負			
その他特記事項等 (例：〇〇賞受賞 等)			

※1 当該年度卒業(予定)者のみ記入すること。

※2 募集要項に記載されている該当の番号を記入すること。

- ・各項目の枠は必要に応じて広げてもよいが、その場合、様式2全体をA4用紙2枚以内におさめること。
- ・卒業(予定)者の方は、学部在学中の内容を記載すること。

旅費等の振込（新規・変更）申出書

平成 年 月 日申出

岡山大学Alumni（全学同窓会）会長 殿

岡山大学Alumni（全学同窓会）から私に支払われる旅費等については、下記の金融機関口座に振込願います。

個人番号 又は 学生番号									
フリガナ									
氏名	⑩								
部局 学部学科等・学年									
身分（学部生、大学院生等）									
住所	〒	-							
携帯電話番号	（ - - ）								
メールアドレス (PC)									

振込先 (いずれか一方)	金融機関	金融機関店舗名	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 銀行 金庫 組合 本店 支店 出張所 </div>								
		コード番号	銀行コード				店番コード				
		預金種別	1.普通預金 2.当座預金 3.その他（ ）								
		口座番号									
		口座名義(カナ)									
	ゆうちょ銀行	記号番号									
		金融機関店名	ゆうちょ銀行			金融機関コード	9	9	0	0	
		店名	店	店	番						
		預金種別	1.普通預金 2.当座預金 3.その他（ ）								
		振込用口座番号									
		口座名義(カナ)									

記載注意事項

- 1 振込口座は、原則申請者の口座に限ります。
- 2 氏名は自署にて記入してください。
- 3 振込口座名及びフリガナは、預金通帳を確認のうえ正確に記入して下さい。
なお、外国人の方については、表記の並び等の関係で振込不能となる恐れがありますので、通帳の写し（口座番号・名義等が表記されている見開きのページのみ）を添付して下さい。
- 4 当用紙に記載された個人情報（口座情報等）は、本会からの振込のみに利用し、本会が管理するもので、目的外に利用することはありません。

平成28年度岡山大学 Alumni（全学同窓会）グローバル人材育成支援事業
【グローバル教育活動支援事業】募集要項（案）

■趣旨および目的：

岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、岡山大学が行うグローバル教育活動に要する経費のうち、学生の負担にかかるもので岡山大学からの補助が困難なものについて支援金を支給します。このことにより、学生の経済的な負担を軽減するとともに、岡山大学のグローバル教育活動の円滑な実施を支援し、岡山大学の学生全体のグローバル化を推進することを目的としています。

■申請資格：グローバル・パートナーズセンター長又はグローバル人材育成院長

■支援金の対象となる行事等：

次のいずれかに該当するもので、グローバル・パートナーズセンター長又はグローバル人材育成院長が、特に支援の必要があると認めるもの。ただし、岡山大学又は他機関から経費の全部又は一部を支弁されるものを除く。

〔申請区分〕

- 1 文部科学省等の海外留学奨学金の面接審査等への出席に要する旅費
- 2 グローバル人材育成院が企画する教育プログラム等への参加に要する経費
- 3 国内で開催される国際ユースカンファレンス等で、各省庁、独立行政法人若しくは国際機関等が主催若しくは後援するもの又は外国の公的機関が主催するものへの参加に要する経費
- 4 国内で開催されるディベート大会、プレゼンテーションコンテスト等で、各省庁、独立行政法人、地方公共団体又は各国大使館・領事館等が主催するものへの参加に要する経費

特に支援の必要があると認めるものの例

グローバル・パートナーズの教員が学生に参加を勧めたもの 等

■支援金支給額：

上記〔申請区分〕の番号に応じて、次のとおりとする。

- 1 岡山大学の規定に基づき算出した額
- 2 教育プログラム等への参加に要した額（実費）
- 3・4 大会への参加に要した額（実費）。ただし、1万円を上限とする。

■支援金年間予算規模：

約50万円（50万円を超えない範囲とする。超えることが予想される場合は、グローバル・パートナーズセンター長又はグローバル人材育成院長で調整を行う。）

■申請方法：

申請は事後とし、次の申請書類を〔表1〕に記載の期日までに下記提出先に提出する。

- a 申請書（様式1）
- b 支援金を申請する対象学生、行事等、経費内訳（様式2）
- c 行事の概要がわかる資料の写し
- d 経費内訳の領収書の写し
- e 振込申出書（別添様式）

※b～eは、学生ごとに提出すること。

■申請書類提出先：

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号（総務・企画部 総務課内）

TEL:086-251-7019

■申請に対する通知および支援金の支給：

岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、当該申請が支援金の申請要件に該当することを確認した後、グローバル・パートナーズセンター長又はグローバル人材育成院長へ通知する。また、学生への通知及び支援金の支給についても岡山大学 Alumni（全学同窓会）から行う。

■その他：

申請書類に記載された個人情報は、本事業以外の目的には使用せず、取扱いには充分注意すること。ただし、支援金が支給されることとなった方については、申請書類に記載された内容を、広報誌、ホームページ等、Alumni および岡山大学の広報活動で使用することがある。（電話番号、メールアドレスは除く。）また、Alumni 会報の報告原稿執筆および Alumni 総会や岡山大学が開催又は参加する報告会等で報告発表を課すことがある。

〔表1〕

	対象期間 (行事等に参加した最終日が属する期間)	申請書提出期日	申請に対する通知および 支援金の支給
平成28年度 (第1回) 募集 平成28年9月卒業(予定) ※1	平成28年4月～ 平成28年9月	平成28年10月14日(金)	平成28年11月末頃
平成28年度 (第2回) 募集 ※2	平成28年10月～ 平成29年3月	平成29年4月14日(金)	平成29年5月末頃

※1 平成28年6月卒業、平成28年9月卒業(予定) 者も対象とする。ただし、行事等に参加した最終日が卒業(予定) 日以前であること。

※2 平成28年12月卒業(予定)、平成29年3月卒業(予定) 者も対象とする。ただし、行事等に参加した最終日が卒業(予定) 日以前であること。

(様式1)

平成〇〇年度 (第〇回)

岡山大学 Alumni (全学同窓会) グローバル教育活動支援事業 申請書

平成 年 月 日

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会長 殿

所属・職名

氏 名

印

当センター (院) が行ったグローバル教育活動に参加した下記の学生について、必要書類を添えて支援金の支給を申請します。

なお、本申請は、岡山大学又は他機関から経費の全部又は一部を支弁されるものではないことを確認しましたので、申し添えます。

記

氏 名	電話番号	E-mail	申請する支援額 (円)
申請する支援額の合計			

(様式2) 申請書別紙

学部学科等・学年	
氏名	
学生番号	
卒業(予定)年月日 ※1	平成 年 月 日
申請区分 ※2	
行事等の名称	
開催地	
参加した期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
行事等の概要	
経費内訳	
項 目	金額 (円)
計	
上記のうち申請する支援額	

※1 当該年度卒業(予定)者のみ記入すること。

※2 募集要項に記載されている該当の番号を記入すること。

経費内訳確認者 (会計事務担当者等)

所属・職名

氏名

旅費等の振込（新規・変更）申出書

平成 年 月 日申出

岡山大学Alumni（全学同窓会）会長 殿

岡山大学Alumni（全学同窓会）から私に支払われる旅費等については、下記の金融機関口座に振込願います。

個人番号 又は 学生番号									
フリガナ									
氏名	⑩								
部局 学部学科等・学年									
身分（学部生、大学院生等）									
住所	〒	-							
携帯電話番号	（ - - ）								
メールアドレス (PC)									

振込先 (いずれか一方)	金融機関	金融機関店舗名	銀行 金庫 組合							本店 支店 出張所	
		コード番号	銀行コード				店番コード				
		預金種別	1.普通預金 2.当座預金 3.その他（ ）								
		口座番号									
		口座名義(カナ)									
	ゆうちょ銀行	記号番号									
		金融機関店名	ゆうちょ銀行			金融機関コード	9	9	0	0	
		店名	店		店番						
		預金種別	1.普通預金 2.当座預金 3.その他（ ）								
		振込用口座番号									
		口座名義(カナ)									

記載注意事項

- 振込口座は、原則申請者の口座に限ります。
- 氏名は自署にて記入してください。
- 振込口座名及びフリガナは、預金通帳を確認のうえ正確に記入して下さい。
なお、外国人の方については、表記の並び等の関係で振込不能となる恐れがありますので、通帳の写し（口座番号・名義等が表記されている見開きのページのみ）を添付して下さい。
- 当用紙に記載された個人情報（口座情報等）は、本会からの振込のみに利用し、本会が管理するもので、目的外に利用することはありません。

資料 10

平成28年度岡山大学 Alumni（全学同窓会）ボランティア活動支援事業 ボランティア活動支援金申請募集要項

平成27年6月29日

改正 平成27年10月16日

岡山大学 Alumni（全学同窓会）では、岡山大学の在学生、同窓生、教職員、教職員 OB 等が積極的にボランティア活動に参加することができるよう、支援金の支給を行います。申請はボランティア活動の参加後に行っていただくこととなりますが、参加等を証明する書類の写しが必要となりますので、参加前に本要項をご確認ください。ただし、授業の一環として参加するものは支援の対象から除きます。

■申請資格

岡山大学の在学生、同窓生、教職員、教職員 OB（団体での申請も可）

■支援対象および支援額

- (1) 当該ボランティア活動にかかるボランティア活動保険料および交通費
自己負担分を一人あたり 5,000 円を限度として支給。
- (2) 当該ボランティア活動にかかる宿泊費
必要不可欠と認められる宿泊について、自己負担分を一人あたり一泊につき 5,000 円を限度として 2 泊まで支給。

■申請方法

申請は参加後とし、次の申請書類を〔表 1〕に記載の期日までに下記提出先に提出してください。ただし、今年度卒業（修了）予定者は、卒業（修了）予定日までに提出してください。なお、同一人による申請は、原則として今年度中 2 回までとします。

- a 申請書および別紙（様式 1 及び様式 2）
- b 活動の概要がわかる書類の写し（パンフレット等）
- c ボランティア活動の参加を証明する書類の写し（活動受入証明書、参加者名簿等）
- d ボランティア活動保険加入証の写し
- e ボランティア活動の参加に要した交通費を証明する書類の写し（領収書、切符等）
※切符は、写真撮影したものでも結構ですが、金額、日付が明確にわかるものに限ります。
- f ボランティア活動の参加に要した宿泊費を証明する書類の写し（領収書等）
- g 岡山大学又は他機関から経費の一部を支弁された場合は、その支援額及び使途のわかる書類の写し（団体申請の場合は、活動に係る収支決算書でも可）
- h 振込申出書（別添様式）

※ e、f、g は該当する場合のみ提出

■申請書類提出先（問い合わせ先）

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局

〒700-8530 岡山市北区津島中一丁目1番1号 岡山大学 総務・企画部 総務課内(本部棟4階)

TEL : 086-251-7019 FAX : 086-251-7294 E-mail : ou-alumni@adm.okayama-u.ac.jp

※提出は、持参の他、郵送、学内便等でも結構です。

■申請に対する結果通知

岡山大学 Alumni（全学同窓会）事務局において、当該申請が支援金の申請要件に該当することを確認した後、原則として、〔表1〕に記載の日までに申請者に対して通知します。

■その他

- ・この支援金の支給は、原資がなくなった時点で終了します。また、申請者多数の場合は、遠方の活動に参加した方への支給を優先する場合があります。
- ・申請書類に記載された個人情報、本事業以外の目的には使用せず、取扱いには充分注意します。ただし、支援金が支給されることとなった方については、申請書類に記載された内容を、広報誌、ホームページ等、Alumni および岡山大学の広報活動で使用させていただくことがあります。（電話番号、メールアドレスは除く。）また、Alumni 会報の報告原稿執筆および Alumni 総会等で報告発表を行っていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

〔表1〕

	対象期間 (活動に参加した最終日が属する期間)	申請書提出期日※	申請に対する 結果通知
平成28年度 (第1回) 募集	平成28年4月～ 平成28年9月	平成28年10月14日(金)	平成28年11月末頃
平成28年度 (第2回) 募集	平成28年10月～ 平成29年3月	平成29年4月14日(金)	平成29年5月末頃

※学生の方で、今年度卒業(修了)予定者は、卒業(修了)予定日までに提出してください。

■岡山大学 Alumni（全学同窓会）とは？

岡山大学 Alumni（全学同窓会）は、学生の皆さんや、同窓生、教職員、教職員 OB の方々を会員とする組織です。岡山大学と連携協力しながら、岡山大学の発展と社会への貢献に寄与すること及び会員相互の交流と親睦を図ることを目的として設立されました。

岡山大学 Alumni（全学同窓会）の運営は、会員の皆様の会費で賄われており、このボランティア活動支援事業も会員の皆様の支援により実現しました。

岡山大学 Alumni（全学同窓会）ホームページ

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/index.html>

(様式1)

平成〇〇年度 (第〇回)
岡山大学 Alumni (全学同窓会) ボランティア活動支援金申請書

平成 年 月 日

岡山大学 Alumni (全学同窓会) 会長 殿

氏 名 : 印

電 話 番 号 :

住 所 :

E - m a i l :

私は、このたびボランティア活動に参加しましたので、下記の添付書類とともにボランティア活動支援金の支給を申請します。

記

*添付書類

- a 申請書別紙 (様式2)
- b 活動の概要がわかる書類の写し (パンフレット等)
- c ボランティア活動の参加を証明する書類の写し (活動受入証明書、参加者名簿等)
- d ボランティア活動保険加入証の写し
- e ボランティア活動の参加に要した交通費を証明する書類の写し (領収書、切符等)
※切符は、写真撮影したものでも結構ですが、金額、日付が明確にわかるものに限りません。
- f ボランティア活動の参加に要した宿泊費を証明する書類の写し (領収書等)
- g 岡山大学又は他機関から経費の一部を支弁された場合は、その支援額及び用途のわかる書類の写し (団体申請の場合は、活動に係る収支決算書を作成している場合はその書類)
- h 振込申出書 (別添様式)

※ e、f、g は該当する場合のみ提出

(様式2) 申請書別紙

ふりがな 氏名	
生年月日	大・昭・平 年 月 日
身分	<input type="checkbox"/> 在學生 <input type="checkbox"/> 同窓生 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 教職員OB
岡大における所属	
申請区分 他	<input type="checkbox"/> 個人 今回参加した受入（活動主催）団体の名称（該当がある場合のみ記入）： <input type="checkbox"/> 団体 自らが所属している団体の名称：
活動の名称	
活動に参加した期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
活動内容および目的	
活動の参加により得た 知見、成果、報告	
今後の抱負	

全国200万人加入

平成28年度

ボランティア活動保険

(<http://www.fukushihoken.co.jp>)

ふくしの保険

検索



ボランティア活動中の
さまざまな事故によるケガや
損害賠償責任を補償します
さらに後遺障害もフルカバー^(※)
なので安心!

(※)後遺障害保険金は、後遺障害等級1級から14級までの
すべてがお支払いの対象になります。



社会福祉
法人 全国社会福祉協議会

〔本制度の契約形態〕

本制度は、ボランティア個人またはボランティアグループなどが加入申込人(加入対象者)となり、ボランティア個人を被保険者(保険の補償を受けられる方)として全国社会福祉協議会が一括して損害保険会社と締結する団体契約です。

加入申込人（加入対象者）（ご加入いただける方）

社会福祉協議会およびその構成員・会員ならびに社会福祉協議会が運営するボランティア・市民活動センターなどに登録されているボランティア、ボランティアグループ、団体^(※)

(※)登録されている団体とは、社会福祉法人、NPO法人、社団法人、財団法人、学校法人、医療法人、地方公共団体、その他地域福祉活動の推進に取り組む団体です。なお、登録の方法は最寄りの社会福祉協議会にお問い合わせください。

被保険者（保険の補償を受けられる方・ご加入者）

(ケガの補償)：ボランティア個人

(賠償責任の補償)：ボランティア個人、ボランティアの監督義務者^(※1)、NPO法人^(※2)

(※1)ボランティアがお子さまなどの未成年者で責任能力がない場合には、監督義務者が法律上の損害賠償責任を負われる場合があるため、被保険者としています。

(※2)ボランティアがNPO法人に所属している場合、ボランティア活動中の事故により、NPO法人が法律上の損害賠償責任を負われる場合があるため、被保険者としています。

対象となるボランティア活動

日本国内における「自発的な意思により他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」で、次の①から③までのいずれかに該当する活動とします。

①グループの会則に則り企画、立案された活動であること。

(グループが社会福祉協議会に登録されていることが必要です。)

②社会福祉協議会に届け出た活動であること。

③社会福祉協議会に委嘱された活動であること。

※ボランティア活動のための学習会または会議などを含みます。

※自宅などとボランティア活動を行う場所との通常の経路による往復途上を含みます。(自宅以外から出発する場合は、その場所と活動場所への往復途上となります。)

対象とならないボランティア活動

◎自発的な意思による活動とは考え難いもの

(例) ●学校管理下にある先生、生徒のボランティア活動
●道路交通法違反者による行政処分としてのボランティア活動
●免許、資格、単位取得を目的としたボランティア活動

など

◎PTA、自治会、町内会、老人クラブなどボランティア活動以外の目的でつくられた団体・グループが行う組織運営や団体構成員の親睦のための活動

(例) ●自治会などの総会、懇親会、レクリエーション活動

など

◎有償のボランティア活動(交通費、昼食代、活動のための原材料費などの実費の支給については無償とみなします。)

(例) ●報酬が時給・日給・月給などで支払われる場合

→有償のボランティア活動をされる場合は、「福祉サービス総合補償」をご利用ください。

◎自宅で行う活動

ただし、日常生活と明確に区別でき、かつ活動計画書などによって活動予定や内容が事前に確認できる場合は対象になります。

◎保険上対象外となっているボランティア活動

(例) ●海難救助または山岳救助ボランティア活動
●銃器を使用する害獣駆除ボランティア活動
●野焼き・山焼きを行うまたはチェーンソーを使用する森林ボランティア活動

など

※スポーツ活動などにおいて、試合や練習に競技者として参加する場合は対象になりません。(ただし、スポーツを教える活動や福祉目的でスポーツを見せる活動などの場合は対象になります。詳しくはお問い合わせください。)

補償内容

ボランティアがボランティア活動中の急激かつ偶然な外来の事故によりケガをされた場合や、偶然な事故により他人にケガをさせたり、他人の物^(※1)をこわしたことにより法律上の損害賠償責任を負われた場合に保険金をお支払いします。

◆ボランティア自身の食中毒(0-157など)や特定感染症^(※2)も補償します。

◆熱中症(日射病や熱射病)も基本タイプで補償の対象となります。

◆天災タイプでは、基本タイプにおける補償に加え、天災(地震、噴火または津波)によるケガも補償します。(賠償責任の補償は基本タイプと同じです。)

◆台風などの風水害によるケガは、基本タイプでも補償されます。

(※1)ボランティア活動に伴って占有、使用または管理する保管物を含みます。

(※2)特定感染症とは、感染症予防法に定める1類・2類・3類感染症をいいます。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡(天然痘)、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、SARS、鳥インフルエンザ(H5N1およびH7N9型)、コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症(0-157など)、腸チフス、パラチフス、MERS

(平成27年10月現在)

なお、特定感染症の補償については、死亡保険金は対象外となりますが、葬祭費用(300万円限度)をお支払いします。

補償金額（保険金額）

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,200万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
	手術 保険金	外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金	通院保険金日額		4,000円	6,000円
特定感染症の補償	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)と同じ		
賠償責任の償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円 (限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円 (限度額)		

保険料（1名あたり）

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			300円	450円
天災タイプ ^(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)			430円	650円

(※)天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償します（天災危険担保特約条項）が、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

- ◆補償期間の途中で加入される場合も上記の保険料となります。なお、中途脱退による保険料の返れいはありません。
- ◆途中でボランティアの入替や、ご加入プラン・タイプの変更はできません。
- ◆ご加入は、お1人につきいずれか1口となります。
- ◆複数口加入の場合でも補償は1口のみとなります。加入申込人は2口以上加入される被保険者がいないことを確認のうえ、お申し込みください。

お支払いする保険金の内容

保険金の種類	補償内容
死亡保険金	ボランティア活動中の事故（以下「事故」といいます。）によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合、死亡保険金額の全額をお支払いします。ただし、既に後遺障害保険金をお支払いしている場合は、その金額を差し引いてお支払いします。 死亡保険金の額＝死亡保険金額の全額
後遺障害保険金	〔後遺障害等級第1～7級限定担保特約条項〕 事故によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合、その程度に応じて死亡保険金額の2%～100%（※）をお支払いします。ただし、お支払いする後遺障害保険金の額は、保険期間を通じ、死亡保険金額を限度とします。 後遺障害保険金の額＝死亡保険金額×後遺障害の程度に応じた割合（2%～100%） （※）支払割合の詳細は、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜にお問い合わせください。
入院保険金	事故によりケガをされ、入院された場合、事故の発生の日からその日を含めて180日以内の入院日数に対し、1日につき入院保険金日額をお支払いします。 入院保険金の額＝入院保険金日額×入院日数（事故の発生の日から180日以内）
ケガの補償 手術 保険金	事故によりケガをされ、事故の発生の日からその日を含めて180日以内にそのケガの治療のために病院または診療所において、以下①または②のいずれかの手術を受けた場合、手術保険金をお支払いします。ただし、1事故につき1回の手術にかぎりです。なお、1事故に基づくケガに対して、入院中および外来で手術を受けたときは、＜入院中に受けた手術の場合＞の手術保険金をお支払いします。 ①公的医療保険制度における医科診療報酬点数表に、手術料の算定対象として列挙されている手術（※1） ②先進医療に該当する手術（※2） ＜入院中に受けた手術の場合＞手術保険金の額＝入院保険金日額×10（倍） ＜外来で受けた手術の場合＞手術保険金の額＝入院保険金日額×5（倍） （※1）以下の手術は対象となりません。 創傷処理、皮膚切開術、デブリードマン、骨または関節の非観血的または徒手的全整復術・整復固定術および授動術、抜歯手術 （※2）先進医療に該当する手術は、治療を直接の目的としてメス等の器具を用いて患部または必要部位に切除、摘出等の処置を施すものにかぎりです。
通院保険金	事故によりケガをされ、通院された場合、事故の発生の日からその日を含めて180日以内の通院日数に対し、90日を限度として、1日につき通院保険金日額をお支払いします。ただし、入院保険金をお支払いするべき期間中の通院に対しては、通院保険金をお支払いしません。 通院保険金の額＝通院保険金日額×通院日数（事故の発生の日から180日以内の90日限度） （注1）通院されない場合であっても、骨折、脱臼、靭帯損傷等のケガをされた部位（脊柱、肋骨、胸骨、長管骨等）を固定するために医師の指示によりギプス等を常時装着したときはその日数について通院したものと同みなします。 （注2）通院保険金の支払いを受けられる期間中に新たに他のケガをされた場合であっても、重複して通院保険金をお支払いしません。
特定感染症の補償について	〔特定感染症危険「後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金および葬祭費用保険金」担保特約条項〕 「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に規定する「一類感染症」、「二類感染症」および「三類感染症」を発症された場合にも、後遺障害保険金、入院保険金、通院保険金をお支払いします。ただし、後遺障害は発症された日からその日を含めて180日以内に生じた後遺障害が、入院は発症された日からその日を含めて180日以内の入院がお支払いの対象となります。通院は発症された日からその日を含めて180日以内の通院が支払いの対象となり、通院日数90日が限度となります。また、発症された日からその日を含めて180日以内に亡くなられたときは、300万円を限度として葬祭費用の実額を葬祭費用保険金としてお支払いします。
賠償責任の償 賠償責任 保険金	日本国内において、ボランティア活動に起因する偶然な事故により、他人にケガを負わせたり、他人の財物を壊したり、人格権を侵害してしまったこと等によって、法律上の損害賠償責任を負った場合に、損害賠償金および費用（訴訟費用等）の合計金額をお支払いします（免責金額はありません）。ただし、1回の事故につき損害賠償金は、賠償責任の保険金額を限度とします。なお、賠償金額の決定には、事前に損保ジャパン日本興亜の承認を必要とします。

用語のご説明

用語	内容
【先進医療】	病院等において行われる医療行為のうち、一定の施設基準を満たした病院等が厚生労働省への届出により行う高度な医療技術をいいます。対象となる先進医療の種類については、保険期間中に変更となることがあります。詳しくは厚生労働省ホームページをご覧ください。（ http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/sensiniryu/kikan.html ）
【治療】	医師が必要であると認め、医師が行う治療をいいます。ただし、被保険者が医師である場合は、被保険者以外の医師による治療をいいます。
【通院】	病院もしくは診療所に通い、または往診により、治療を受けることをいいます。ただし、治療を伴わない、薬剤、診断書、医療器具等の受領等のためのものは含みません。
【入院】	自宅等での治療が困難なため、病院または診療所に入り、常に医師の管理下において治療に専念することをいいます。
【免責金額】	支払保険金の算出にあたり、損害の額から控除する自己負担額をいいます。

補償期間（保険期間）

平成28年4月1日午前0時から平成29年3月31日午後12時までとなります。

中途加入の場合は、加入申込手続き完了日の翌日午前0時から平成29年3月31日午後12時までとなります。

保険金をお支払いする主な場合

(1)ケガの補償



清掃ボランティア活動中、転んでケガをして通院した。



ボランティア活動に向かう途中、交通事故にあつて亡くなられた。



活動中、食べた弁当でボランティア自身が食中毒になって入院した。

(2)賠償責任の補償



入浴ボランティア活動中、誤ってお年寄りにケガをさせた。



家事援助ボランティア活動で清掃中、誤って花びんを落としてこわした。



自転車ボランティア活動に向かう途中、誤って他人にケガをさせた。

保険金をお支払いできない主な場合

(1)ケガの補償

- ①故意または重大な過失
- ②自殺行為、犯罪行為または闘争行為
- ③脳疾患、疾病または心神喪失
- ④無資格運転、酒気を帯びた状態での運転または麻薬等により正常な運転ができないおそれがある状態での運転
- ⑤地震、噴火または津波（ただし、天災タイプご加入の場合は補償の対象となります。）
- ⑥核燃料物質の有害な特性などによるケガ
- ⑦頸（けい）部症候群（いわゆる「むちうち症」）、腰痛等で医学的他覚所見^(※)のないもの
- ⑧ピッケル等の登山用具を使用する山岳登山など危険な運動を行っている間の事故
- ⑨職業または職務に従事している間の事故

など

(※)「医学的他覚所見」とは、理学的検査、神経学的検査、臨床検査、画像検査等により認められる異常所見をいいます。以下同様とします。

(2)賠償責任の補償

- ①故意
- ②地震、噴火または津波による事故
- ③核燃料物質の有害な特性などによる事故
- ④心神喪失に起因する事故
- ⑤航空機、自動車または銃器の所有、使用または管理に起因する事故
- ⑥被保険者の職業上の職務遂行に直接起因する事故
- ⑦人または動物に対する診療、治療、看護、疾病の予防、救急救命処置または死体の検案に起因する事故
- ⑧医薬品または医療用具の調剤、調整、鑑定、授与または授与の指示に起因する事故
- ⑨専門職業人資格に基づいて行う施術に起因する事故

など

※自動車による事故は、加入者自身のケガのみが対象となり、対人・対物事故などの賠償責任については対象となりません。（自動車保険でのお支払いとなります。）

※自動車とは、道路交通法ならびに道路運送車両法に定義されているものをいい、ブルドーザー・パワーショベル・ユンボ・フォークリフト・クレーン車などを含みます。

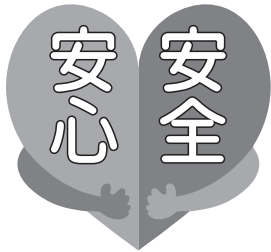
加入申込手続き

- ①所定の「加入申込書」に必要事項をご記入・ご署名（フルネーム）またはご捺印のうえ、保険料を添えて、最寄りの社会福祉協議会にご提出ください。既作成の名簿がある場合は、「加入申込書」に名簿コピーを添付してください。（名簿の書式は問いませんが、個々の加入者氏名と加入プランを明記してください。）

※法人の場合は必ず法人印をご捺印ください。

※必ず「加入申込書」に添付されている「重要事項等説明書」および「ご契約内容確認事項（意向確認事項）」を受領・確認し、「個人情報の取扱いについて」に同意したうえでお申し込みください。また、2口以上の加入者がいないこともご確認ください。

- ②社会福祉協議会がその内容を確認、受付印を押印し、保険料を受領することによって加入申込手続きの完了といたします。
- ③「加入申込書」の3枚目に社会福祉協議会の確認印が捺印されたものが「加入証」となります。大切に保管してください。



ボランティア活動をされるにあたり…

事故防止・軽減のための 10大ポイント

1. 体調が悪い時は決して無理をしないこと。

- 健康と体調は全ての基本です。体調が悪いときは活動を見合わせることも重要です。
- 「無理をする」＝「自らケガをしに行く」「他人に迷惑をかける可能性がある」と認識してください。

2. 情報収集（事前の安全確認と日常点検）をしましょう。

- 活動場所や活動内容、往復途上の交通状況などの情報収集は、参加される活動のリスクを事前に予知するための基本です。収集した情報は全て事故の未然防止や軽減につながるといっても過言ではありません。
- 道具を使用する場合は、取扱説明書を確認すること、そして日常の点検（使用前点検）を行ってください。

3. 活動に適した服装を！

- 活動される内容、気候、季節などを照らし合わせ、適した服装で活動されることが事故防止の近道です。
 - 帽子→熱中症予防
 - 履きなれた運動靴→動きやすく、転倒防止
 - 軍手→切傷など軽微な事故防止（活動内容によって長そでの服、長ズボンも有効です。）など

4. 自宅を出てから帰るまでが活動です。焦らず、気を抜かないこと。

- 集合時間に遅れそうなときは、連絡の上、焦らずに活動に向かいましょう。焦ると周りが見えなくなります。
- 活動を終えてもホッとして気を抜かないこと。帰り道の事故も多く発生しています。

5. 活動前には準備体操、柔軟体操を！

- ボランティア活動はスポーツと同じです。急激に動くと思わぬケガをすることがあります。
- 体を十分にほぐし、あたためてから活動を開始しましょう。

6. 責任者の説明にはしっかり耳を傾けること。

- 自分自身であらかじめ気づいていなかったリスクを確認する機会です。
- また、当たり前のお話であればあるほどしっかり耳を傾け、心に刻みましょう。当たり前のことを守らなかったから事故が起きたということも非常に多く発生しています。

7. 疲れを感じたら遠慮せずに休憩を。随時水分補給をしましょう。

- 疲れたときは、注意力が散漫になり、慎重な活動ができなくなる可能性が高くなります。
- 「疲れた」と実感する前に、「ちょっと疲れた」と感じた時に、周囲の人に遠慮することなく休憩をとりましょう。
- 水分補給は熱中症予防、脱水症状防止、体力回復のための基本であり、非常に重要です。

8. 過信禁物。今の自分にできることをあらかじめ把握しましょう。

- 「以前はこのくらいできたから今でも大丈夫」は危険です。今の自分にできることを予め分析し、他のボランティアの方と協力して活動しましょう。
- ここまでやって大丈夫といった自己判断、過信は禁物です。周囲の方の判断を仰ぐことも重要です。

9. 特に足元注意。（転倒の防止）

- 足元への注意は事故防止の基本です。実際に発生している事故全体の2/3は転倒事故です。つまり、足元に注意を払ってれば、事故の2/3は防げた可能性があるということです。
- 廊下においてあった花瓶を蹴とばして壊してしまったなどの賠償事故の防止にもつながります。

10. 周囲の方との協力、情報の共有を図りましょう。

- ボランティア活動は一人で行うものではありません。その他の活動参加者や、利用者と協力して行うものであることを認識してください。（重いものは複数人数で運ぶ、脚立に乗るなど足元が不安定な場合は支えてもらう、危険な場所の情報を共有する など）
- 活動中、お互いに声を掛け合うことで、突発的なリスク回避にもつながります。

事故は防ごうとしても起きてしまうことがあります。
しかし、心がけひとつで事故を未然に防いだり、程度を軽減することができます。
事故防止を心がけ、楽しく、元気にボランティア活動をしましょう。

事故が起きたら

ただちに、加入申込手続きを行った社会福祉協議会に、次の事項をご連絡ください。

- ①ボランティアの氏名、住所、連絡先 ②事故発生の日時、場所 ③事故の原因、状況
④ケガの程度、病院名（傷害事故） ⑤相手の氏名、住所、連絡先、ケガまたは損害の程度（賠償事故）

※事故発生の日からその日を含めて30日以内にご通知がない場合は、保険金をお支払いできないことがあります。

※賠償責任を負担される事故が発生した場合は、必ず損保ジャパン日本興亜にご相談のうえ、交渉をおすすめください。事前に損保ジャパン日本興亜の承認を得ることなく賠償責任を認めたり、賠償金をお支払いになったりした場合は、保険金の全額または一部をお支払いできないことがあります。

ボランティア活動前後にチェックしてみましょう。

全てに☑が入ることを目指しましょう。

【活動に行く前のチェック】

- 活動内容、活動場所の詳細を確認した。 自宅から活動場所までの所要時間を確認した。
 自分でできること、できないことの分析はしてある。 体調は万全（普段通り）だ。

【持ち物・服装のチェック】

（用意しましょう。）

- 運動靴 軍手 帽子 タオル ハンカチ ティッシュペーパー 雨具
 着替え 筆記用具 水筒（飲み物） 救急セット 身分証明書 携帯電話

（必要に応じて用意しましょう。）

- 懐中電灯 携帯ラジオ ヘルメット 鉄製のインソール

【活動開始前・活動中の注意】

- 責任者からの注意事項の説明を受けたか？ 緊急時の避難場所、避難ルートを確認した。
 段差や障害物になり得るものの場所を確認した。 休憩時間を確認した。（適宜取得可能が望ましい。）
 準備運動をした。

【活動後】

- 後片付けをした。
 活動を通じてヒヤリとしたこと、ハットしたことのメモをとった。

●このパンフレットは、ボランティア活動保険の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜にお問い合わせください。

●この保険契約は、次の保険会社が共同で引き受ける共同保険契約であり、幹事保険会社は、他の引受保険会社の代理・代行して保険料の領収、保険証券の発行、保険金支払その他の業務または事務を行っております。

引受保険会社は各々の引受割合に応じて連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。

【引受保険会社】（幹事会社）損害保険ジャパン日本興亜株式会社 85%（非幹事会社）東京海上日動火災保険株式会社 15%

●ご加入時には、加入申込書に添付されている「重要事項等説明書」を必ずご覧ください。

お問い合わせは

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013

東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-4667 FAX 03-3581-4763

＜受付時間：平日の9:30～17:30

（土日・祝日、12/29～1/3を除きます。）＞

団体契約者



社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**

総務部

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル

TEL 03-3581-7851

引受損害保険会社

（幹事会社）

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

医療・福祉開発部第三課

〒100-8965 東京都千代田区霞が関3-7-3

TEL 03-3593-6824 FAX 03-3593-5369

＜受付時間：平日の9:00～17:00（土日・祝日、12/31～1/3を除きます。）＞

（非幹事会社）東京海上日動火災保険株式会社

資料 1 1

岡山大学 Alumni（全学同窓会）ロゴマークの選定について（案）

【スケジュール等】

1. 平成28年6月23日（木）岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会
 - ・ロゴマーク選定委員会委員の選出
2. ロゴマーク選定委員会の開催
 - ・メール会議も含め2～3回開催（ロゴマーク優秀作品の選定）
3. 岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会メール会議
 - ・ロゴマーク選定委員会が選定した複数の優秀作品への投票
 - ・上記結果の連絡と最優秀作品の承認
4. 専門家による最優秀作品の補整作業
5. 業者によるロゴマーク使用ガイドライン作成
6. 平成28年10月21日（金）の岡山大学 Alumni（全学同窓会）理事会
 - ・補整を終えたロゴマークの承認
 - ・使用ガイドラインの承認
7. 平成28年10月22日（土）の岡山大学 Alumni（全学同窓会）総会
 - ・最優秀賞受賞者の表彰式（賞状，賞金＜目録＞の贈呈）
 - ・ロゴマークを使ったPR活動の説明
Alumni ホームページ，リーフレット，封筒 など
8. その他
 - 委員が（案）のとおり決定した場合
 - ・学生委員へ，15h分（選定作業時間，委員会出席）の謝金支給

岡山大学Alumni(全学同窓会)ロゴマーク選定委員会委員(案)

所属・職名	氏名(敬称略)
岡山大学Alumni(全学同窓会)・副会長 事務局長 岡山大学理事(社会貢献・国際担当)	荒木 勝
岡山大学Alumni(全学同窓会)・理事	竹原 啓二
岡山大学Alumni(全学同窓会)・理事	千原 敏裕
岡山大学Alumni(全学同窓会)・理事	上村 一雄
大学院医歯薬学総合研究科長	那須 保友
総務・企画部長	松原 俊雅
校友会公認サークル(津島) 美術部・学生	岡部 由美

『学都基金』の推進について

岡山大学

学都基金創設の背景

世界トップの大学と伍する国際的な研究・教育の拠点形成

- ・文部科学省の大学類別における、国際的研究・教育拠点
- ・スーパーグローバル大学創成支援事業の課題遂行
- ・研究大学強化促進事業選定大学(H25)、臨床研究中核病院選定病院(H25)としての研究拠点
- ・橋渡し研究加速ネットワークプログラム(H26)採択による、基礎研究・異分野融合研究を臨床へ展開

創造的な国際学都として、地域のイノベーション拠点

- ・グローバルな地域人材の育成
- ・世界から人が集まる国際学都の創生
- ・学術都市ストラスブール、環境都市ポートランド、医療都市ピッツバーグをベンチマークとした国際学都連携
- ・地域・企業との深い連携による、イノベーション拠点としての学都の創生
- ・東京一極集中から多極・地域連携による新しい知と産業の創出拠点

岡山大学の取組

岡山大学改革プラン

- ・地域に根ざし世界に輝く～創造的国際学都を目指して～

文部科学省スーパーグローバル創成支援事業「PRIMEプログラム」

- ・世界で活躍できる『実践人』を育成

第3期中期目標期間における重点的取組(取組構想)

- ・聖域なき組織横断型改革により、教育研究組織の再編と教学・経営システムの再構築を図り、世界を見据えた異分野融合及び実践型の教育や研究を全学で展開
- ・世界に向け、創造的な知の成果、技の結実を発信し、社会のイノベーションを創出

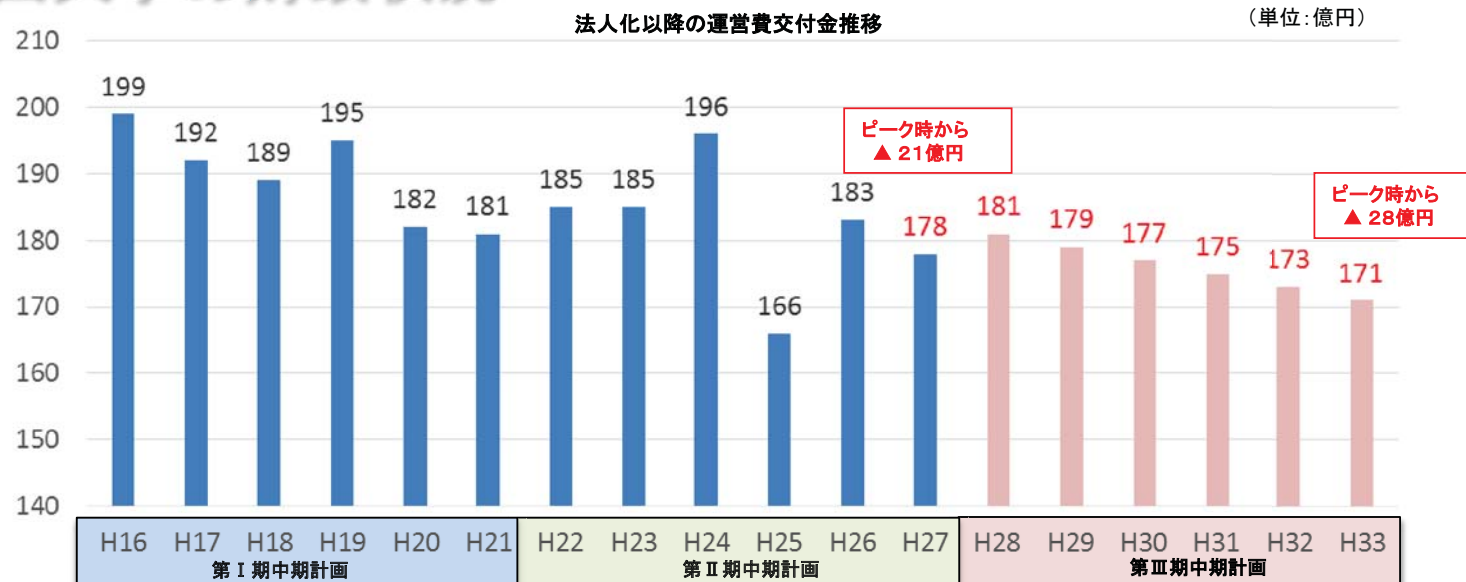
国立大学を取り巻く財政状況

- ① 運営基盤を支える運営費交付金は、過去12年間で約12%削減
→ 教育研究活動を支える常勤教員の人件費、特に若手教員の雇用が減少し、優秀な人材の確保や研究時間の減少などに弊害
- ② 第3期中期目標期間に向け、機能強化のための改革を推進
→ 改革を進める戦略的な経費の確保が不可欠(財源の多元化)

第3期中期目標期間の財政状況

- ① 第2期の大学改革促進係数(▲1.3%)を見直し、**機能強化促進係数**として新規設定
重点支援③:▲1.6%(第3期中期目標期間中毎年同率で拠出)
- ② 全国立大学から拠出された財源(約100億円)を確保し、約2分の1を基幹運営費交付金(機能強化経費)として再配分
- ③ 残りの財源は、運営費交付金の補完的役割としての新規補助金を創設
- ④ 今後は、有識者の意見を踏まえ、評価に基づき配分

岡山大学の財政状況



- ① 知識基盤社会の到来、グローバル化の進展など急速な社会の変化とともに、グローバルな大学間の競争が激化する中、国家財政逼迫のため高等教育に振り分けられる予算が年々削減
- ② 岡山大学の運営費交付金は、法人化以降1割程減少
 → 経営の効率化と**自己収入の増大**を図ることが重要な課題
 岡山大学が世界トップクラス大学と伍して卓越した教育研究、社会実装を推進していくためには、**強固な財政基盤が不可欠**

グローバル人材育成、イノベーション創出を通して『学都岡山』創生

岡山大学の歩み、社会的使命

- ・急速な少子高齢化、地域間格差の拡大、社会・地域の全体を覆うグローバル化の進展など、社会の急激な変化に対応し、新たな課題を担う人材の育成
- ・地域・社会の現場の課題に果敢に取り組み、大学が地域社会のイノベーション拠点となる

チャレンジ・飛躍

- ・2013年 臨床研究中核病院認定、研究大学強化促進事業採択。2014年 スーパーグローバル大学創成支援事業採択。

基金のコンセプト

- ・日本人学生の海外派遣促進、優秀な外国人留学生受入体制の充実、国際的な水準の研究者の相互交流等の事業を支援するための資金確保。
- ・大学が地域と連携して、知のイノベーション拠点となり、地域、社会、産業の活性化に寄与する資金を確保。

地域・社会とともに

- ・岡山に世界から人が集まり、また岡山から世界に飛び立つ人材の育成に、地域と大学が協同して取り組み、岡山を国際的な都市『学都岡山』として発展させる。

事業テーマⅠ 「人材育成」

- ① グローバル実践人育成事業
日本人学生の海外留学等支援奨学金支援
- ② 留学生派遣・受入(長期・短期)支援事業
自費留学生への奨学金支援等
- ③ 国際インターンシップ推進事業(産官学連携)
- ④ その他、FD・SD活動推進

事業テーマⅡ 「イノベーション創出」

- ① 卓越した研究者の派遣・受入推進
優れた研究者の在外研究支援、国際共同研究の支援
- ② イノベーション拠点(国内・国外)整備事業
- ③ 基盤研究推進支援事業(産官学連携)
岡山大学の強みとなる研究・プロジェクト支援

事業テーマⅢ 「ネットワーク構築」

- ① 「学都」実現のための社会連携体制構築
- ② 岡山大学Alumni(全学同窓会)との連携事業展開

企業連携

イノベーション拠点

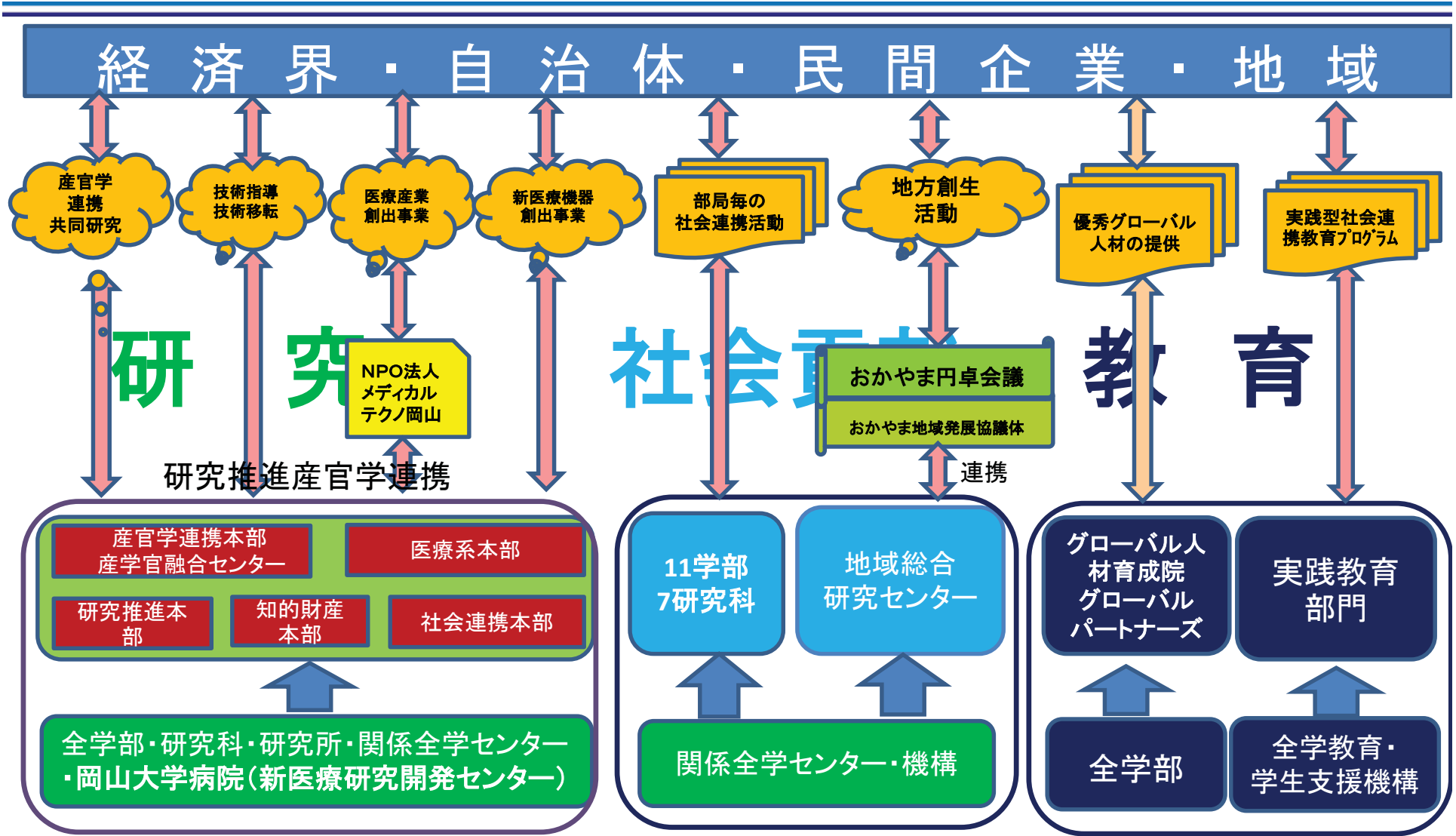
世界的な国際学術都市
学都岡山

グローバル実践人
育成拠点

国際連携

地域創生拠点

自治体・経済界連携



地域とともに「国際学都創生」拠点をめざす岡山大学

資金計画(案)

<収入>

単位千円

区 分		28年~30年	31年~35年
学内関係者	教職員・同窓生からの寄附	200,000	260,000
	保護者からの寄附	20,000	20,000
	大学経営資金から受入	70,000	120,000
	国際交流基金から受入	30,000	0
	その他(アラムナイ等)の支援	10,000	30,000
	小 計	330,000	430,000
学外	法人からの寄附	100,000	150,000
	法人から事業モデルに投資	60,000	150,000
	一般からの寄附	10,000	60,000
	小 計	170,000	360,000
基金運用益		0	10,000
前期からの繰越金		0	200,000
合 計		500,000	1,000,000

<支出>

単位千円

区 分		28年~30年	31年~35年
グローバル人材育成 事業支援	一般留学生受入・派遣	120,000	200,000
	グローバル人材育成特別コース	60,000	100,000
	グローバル・ディスカバリー	20,000	150,000
	その他支援プログラム	20,000	100,000
	小 計	220,000	550,000
	イノベーション拠点創出事業支援	60,000	200,000
地域創生拠点事業支援		20,000	50,000
その他新規事業支援		0	50,000
合 計		300,000	850,000

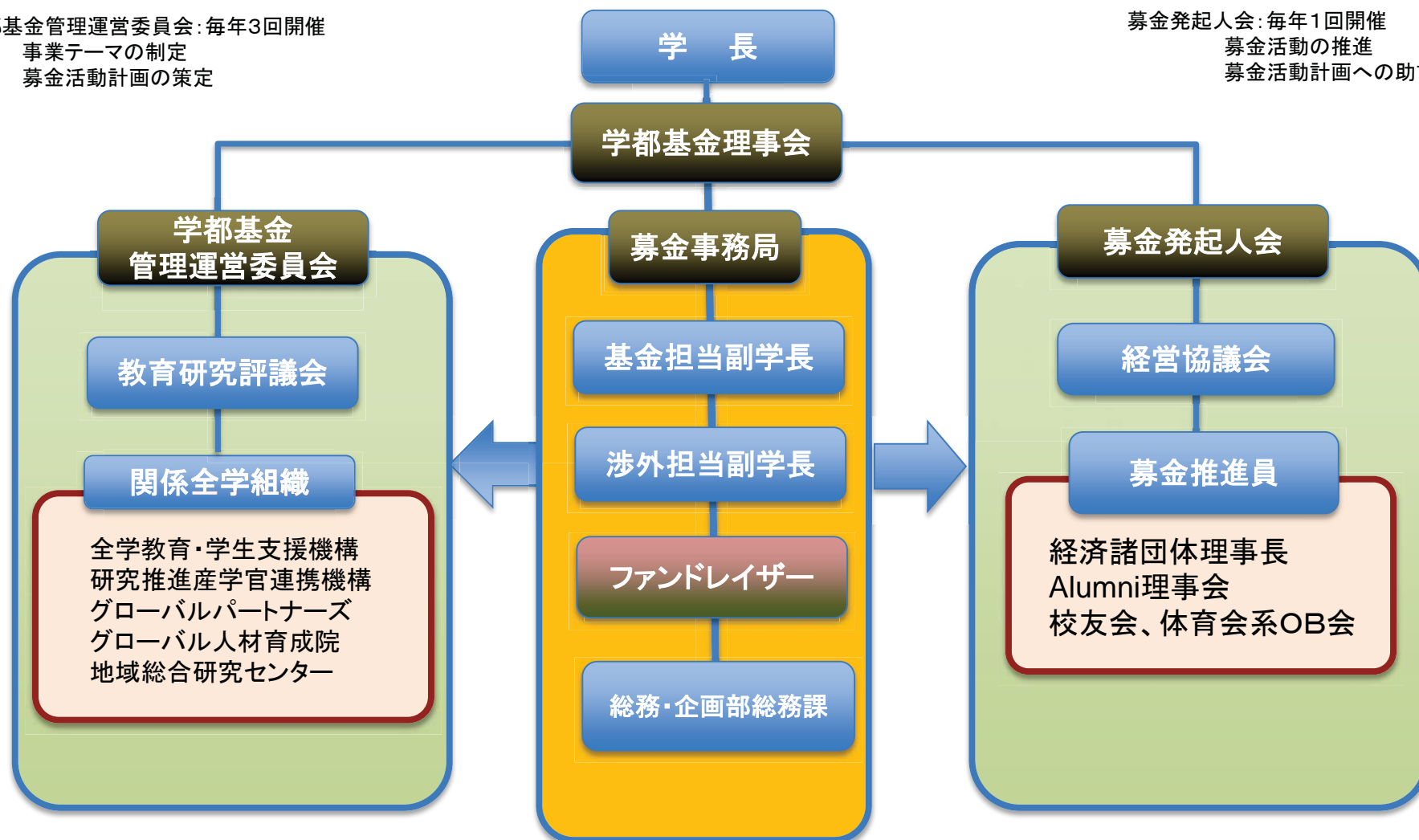
活動形態別募金目標額(平成28年度～平成30年度)

- 1. ファンドとしての事業モデル構築 【募金目標額:0.6億円】**
本学の研究活動(シーズ)と地域産業の現状(ニーズ)のマッチングによる
ファンドとしての事業モデル構築
 - ・研究推進産学官連携機構との連携
 - ・自治体との連携(企業版ふるさと納税の活用)**※ある程度の寄付を募るためには、寄付者に対するメリットを示す必要あり**
- 2. その他企業への募金活動 【募金目標額:1億円】**
 - ・卒業生が就職している企業、本学と取引のある企業を中心にファンドレイザーによる募金活動
- 3. 同窓生への募金活動 【募金目標額:1億円】**
 - ・岡山大学Alumni(全学同窓会)、各学部同窓会との連携
- 4. 学内教職員への募金活動 【募金目標額:1億円】**
 - ・各部局との連携

学都基金推進体制案

学都基金管理運営委員会: 毎年3回開催
事業テーマの制定
募金活動計画の策定

募金発起人会: 毎年1回開催
募金活動の推進
募金活動計画への助言



顕彰

① 銘板

設置基準 一定額以上の寄附者を銘板により顕彰

	個人	法人
プラチナプレート	1,000万円以上	2,000万円以上
ゴールドプレート	100万円以上	500万円以上
シルバープレート	50万円以上	200万円以上
ブロンズプレート	10万円以上	50万円以上

* 全ての寄附者ご芳名をHP掲載により顕彰

設置場所 銘板は五十周年記念館ラウンジを想定

銘板設置及び個々の顕彰プレート制作は基金から支出

② 表彰・懇親・報告

- ・高額寄附者(企業)に対する感謝状贈呈及び懇親会開催
- ・高額寄付者を招待し、大学の活動の報告会や昼食会を開催

税制上の優遇措置(個人で寄付する場合)

1. 所得税の控除

寄付金の額(総所得金額等の40%を上限とする)から2000円を引いた額を所得税の課税所得額から控除できる。

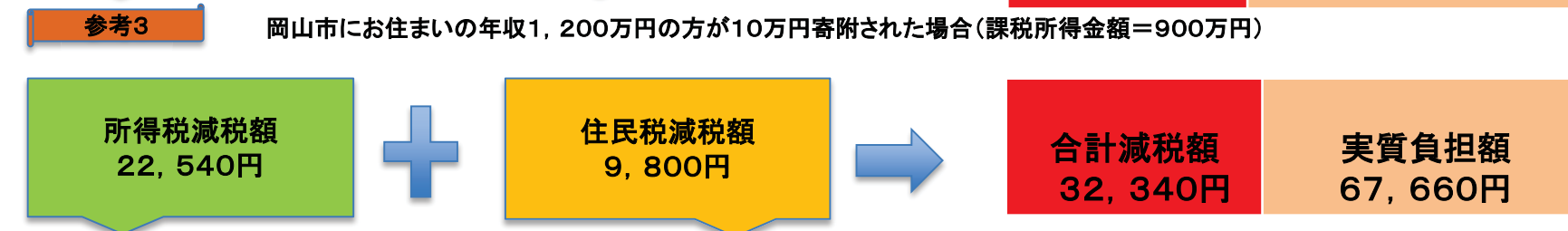
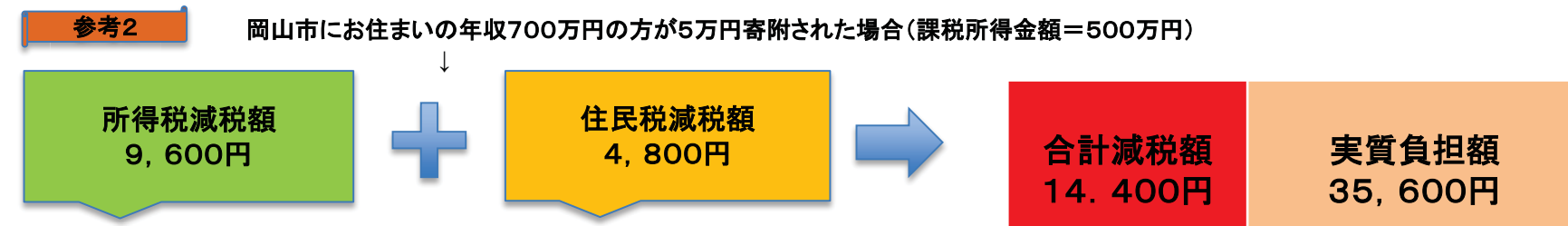
参考1 所得税軽減額の例

		課税所得金額(税率)			
		300万円 (10%)	500万円 (20%)	900万円 (23%)	1500万円 (33%)
寄付金額	1万円	800円	1,600円	1,840円	2,640円
	5万円	4,800円	9,600円	11,040円	15,840円
	10万円	9,800円	19,600円	22,540円	32,340円
	100万円	99,800円	199,600円	229,540円	329,340円



2. 住民税の控除

寄付金の額(総所得金額等の30%を上限とする)から2000円を引いた額に対し、10%の額が住民税から控除できる。



上記は目安であり、収入の種類・各種所得控除等により、変動が生じる事があります。

岡山大学Alumni(全学同窓会)および各学部等同窓会 会費納入状況一覧

資料14

平成28年4月30日現在

	入学年度	納入件数	Alumniへの振替件数	学部等同窓会への振替件数	備 考
学部学生	H25年度以前入学生	24	24	1	■工学部1件(H23年度入学者)
	H26年度入学生	1,526	1,526	1,431	■Alumniへの振替件数と学部等同窓会への振替件数に差(95件)が生じる理由: ○学部等同窓会費を入学時に徴収しない同窓会等があったため 歯学部(36件)、拓水会(30件)、MPコース(9件) ○Alumni会費のみ振込した人があったため 理学部(7件)、環会(13件)
	H27年度入学生	1,773	1,773	1,723	■Alumniへの振替件数と学部等同窓会への振替件数に差(50件)が生じる理由: ○学部等同窓会費を入学時に徴収しない同窓会等があったため 拓水会(32件)、MPコース(16件) ○Alumni会費のみ振込した人があったため 鶴翔会(1件)、環会(1件)
	H28年度入学生	1,657	1,657	1,570	■Alumniへの振替件数と学部等同窓会への振替件数に差(87件)が生じる理由: ○学部等同窓会費を入学時に徴収しない同窓会等があったため 環会(43件)、拓水会(30件)、MPコース(14件)
	計	4,980	4,980	4,725	
大学院生	H25年度以前入学生	18	18	0	
	H26年度入学生	53	53	0	特別支援教育特別専攻科、養護教育特別別科も含む
	H27年度入学生	92	92	0	特別支援教育特別専攻科、養護教育特別別科も含む
	H28年度入学生	64	64	0	特別支援教育特別専攻科、養護教育特別別科も含む
	計	227	227	0	
教職員	-	684	684	0	教職員コードあり569、教職員所属あり12、退職時の最終所属103
同窓生	-	981	981	0	
合計		6,872	6,872	4,725	

岡山大学Alumni(全学同窓会)および各学部等同窓会 会費納入状況一覧(参考1)

H27年度学部入学生																										
同窓会名	学部・学科等名	H27.4.1現在		H27.4.30現在						H27.10.1現在		H28.4.30現在						H27.10.1現在		H29.4.30現在						備考
		入学者数	納入件数	Alumniへの振替件数	Alumni会費納入率	学部等同窓会への振替件数	学部等同窓会費納入率	入学者数	納入件数	Alumniへの振替件数	Alumni会費納入率	学部等同窓会への振替件数	学部等同窓会費納入率	入学者数	納入件数	Alumniへの振替件数	Alumni会費納入率	学部等同窓会への振替件数	学部等同窓会費納入率							
法文経学部同窓会	文学部	189	129	129		129		189	135	135		135														
	法学部	230	679	149	442	149	442	65.1%	149	442	65.1%	230	679	157	463	157	463	68.2%	157	463	68.2%	#DIV/0!	#DIV/0!			
	経済学部	260		164		164			260		171		171													
教育学部同窓会	教育学部		290		202		202	69.7%		202	69.7%		290		210		210	72.4%		210	72.4%	#DIV/0!	#DIV/0!			
理学部同窓会	理学部		167		112		112	67.1%		112	67.1%		167		119		119	71.3%		119	71.3%	#DIV/0!	#DIV/0!			
鶴翔会	医学部医学科		120		108		108	90.0%		107	89.2%		120		112		112	93.3%		111	92.5%	#DIV/0!	#DIV/0!	Alumni会費と学部等同窓会費の件数に差(1件)が生じた理由: Alumni会費のみ振込した人があったため		
ときわ会	医学部保健学科看護学専攻		92		73		73	79.3%		73	79.3%		92		73		73	79.3%		73	79.3%	#DIV/0!	#DIV/0!			
ほおゆう	医学部保健学科放射線技術科学専攻		42		35		35	83.3%		35	83.3%		42		36		36	85.7%		36	85.7%	#DIV/0!	#DIV/0!			
あらたま会	医学部保健学科検査技術科学専攻		42		35		35	83.3%		35	83.3%		42		35		35	83.3%		35	83.3%	#DIV/0!	#DIV/0!			
助産師同窓会	-		0		0		0	-		0	-		0		0		0	-		0	-	-	-	現在、学部入学生を募集していない		
歯学部同窓会	歯学部		53		39		39	73.6%		39	73.6%		53		43		43	81.1%		43	81.1%	#DIV/0!	#DIV/0!	H27年度から学部等同窓会費を入学時に徴収		
業友会	薬学部		85		67		67	78.8%		67	78.8%		85		69		69	81.2%		69	81.2%	#DIV/0!	#DIV/0!			
工学部同窓会	工学部		507		362		362	71.4%		362	71.4%		507		388		388	76.5%		388	76.5%	#DIV/0!	#DIV/0!			
環境数理学科同窓会	環境理工学部環境数理学科		22		13		13	59.1%		13	59.1%		22		15		15	68.2%		15	68.2%	#DIV/0!	#DIV/0!			
環会	環境理工学部環境デザイン工学科		51		36		36	70.6%		36	70.6%		51		37		37	72.5%		36	70.6%	#DIV/0!	#DIV/0!	Alumni会費と学部等同窓会費の件数に差(1件)が生じた理由: Alumni会費のみ振込した人があったため		
拓水会	環境理工学部環境管理工学科		40		30		30	75.0%		0	-		40		32		32	80.0%		0	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	学部等同窓会会費は入学時に徴収せず、卒業時に徴収		
環境物質工学科同窓会	環境理工学部環境物質工学科		41		32		32	78.0%		32	78.0%		41		32		32	78.0%		32	78.0%	#DIV/0!	#DIV/0!			
農学部同窓会	農学部		128		88		88	68.8%		88	68.8%		128		93		93	72.7%		93	72.7%	#DIV/0!	#DIV/0!			
マッチングプログラムコース同窓会	マッチングプログラムコース		16		14		14	87.5%		0	-		16		16		16	84.2%		0	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	学部等同窓会会費は入学時に徴収せず、卒業時に徴収		
合計			2,375		1,688		1,688	71.1%		1,643	69.2%		2,378		1,773		1,773	74.6%		1,723	72.5%	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!

※上記数値は、修正が入る可能性があります。

岡山大学Alumni(全学同窓会)および各学部等同窓会 会費納入状況一覧(参考2)

H26年度学部入学																												
同窓会名	学部・学科等名	H26.4.1現在		H26.4.30現在					H26.10.1現在		H27.4.30現在					H26.10.1現在		H28.4.30現在					備考					
		入学者数	納入件数	Alumniへの振替件数	Alumni会費納入率	学部等同窓会への振替件数	学部等同窓会費納入率	入学者数	納入件数	Alumniへの振替件数	Alumni会費納入率	学部等同窓会への振替件数	学部等同窓会費納入率	入学者数	納入件数	Alumniへの振替件数	Alumni会費納入率	学部等同窓会への振替件数	学部等同窓会費納入率									
法文経学部同窓会	文学部	188						188	113	113		113		188	119	119		119										
	法学部	232	673	280	280	41.6%	280	41.6%	232	673	137	378	137	378	56.2%	137	378	56.2%	232	673	139	388	139	388	57.7%	139	388	57.7%
	経済学部	253						253	128	128		128		253	130	130		130										
教育学部同窓会	教育学部		293	152	152	51.9%	152	51.9%	293	177	177	60.4%	177	60.4%	293	181	181	61.8%	181	61.8%	181	61.8%	181	61.8%	181	61.8%	61.8%	
理学部同窓会	理学部		171	76	76	44.4%	70	40.9%	171	92	92	53.8%	85	49.7%	171	97	97	56.7%	90	52.6%	Alumni会費と学部等同窓会費の件数に差(7件)が生じた理由: Alumni会費のみ振込した人があったため							
鶴翔会	医学部医学科		120	88	88	73.3%	88	73.3%	120	100	100	83.3%	100	83.3%	120	101	101	84.2%	101	84.2%	101	84.2%	101	84.2%	101	84.2%	84.2%	
ときわ会	医学部保健学科看護学専攻		89	48	48	53.9%	48	53.9%	89	51	51	57.3%	51	57.3%	89	54	54	60.7%	54	60.7%	54	60.7%	54	60.7%	54	60.7%	60.7%	
ほおゆう	医学部保健学科放射線技術科学専攻		43	26	26	60.5%	26	60.5%	43	33	33	76.7%	33	76.7%	43	35	35	81.4%	35	81.4%	35	81.4%	35	81.4%	35	81.4%	81.4%	
あらたま会	医学部保健学科検査技術科学専攻		46	30	30	65.2%	30	65.2%	46	34	34	73.9%	34	73.9%	46	37	37	80.4%	37	80.4%	37	80.4%	37	80.4%	37	80.4%	80.4%	
助産師同窓会	-		0	0	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	0	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	-	現在、学部入学生を募集していない
歯学部同窓会	歯学部		53	28	28	52.8%	0	-	53	33	33	62.3%	0	-	53	36	36	67.9%	0	0.0%	H26年度まで学部等同窓会費を卒業時に徴収							
薬友会	薬学部		79	46	46	58.2%	46	58.2%	79	53	53	67.1%	53	67.1%	79	57	57	72.2%	57	72.2%	57	72.2%	57	72.2%	57	72.2%	72.2%	
工学部同窓会	工学部		529	288	288	54.4%	288	54.4%	529	327	327	61.8%	327	61.8%	529	337	337	63.7%	337	63.7%	337	63.7%	337	63.7%	337	63.7%	63.7%	
環境数理学科同窓会	環境理工学部環境数理学科		21	11	11	52.4%	11	52.4%	21	14	14	66.7%	14	66.7%	21	15	15	71.4%	15	71.4%	15	71.4%	15	71.4%	15	71.4%	71.4%	
環会	環境理工学部環境デザイン工学科		51	21	21	41.2%	21	41.2%	51	34	34	66.7%	21	41.2%	51	34	34	66.7%	21	41.2%	Alumni会費と学部等同窓会費の件数に差(13件)が生じた理由: Alumni会費のみ振込した人があったため							
拓水会	環境理工学部環境管理工学科		43	24	24	55.8%	0	-	43	27	27	62.8%	0	-	43	30	30	69.8%	0	0.0%	学部等同窓会会費は入学時に徴収せず、卒業時に徴収							
環境物質工学科同窓会	環境理工学部環境物質工学科		42	21	21	50.0%	21	50.0%	42	27	27	64.3%	27	64.3%	42	28	28	66.7%	28	66.7%	28	66.7%	28	66.7%	28	66.7%	66.7%	
農学部同窓会	農学部		124	70	70	56.5%	70	56.5%	124	83	83	66.9%	83	66.9%	124	87	87	70.2%	87	70.2%	87	70.2%	87	70.2%	87	70.2%	70.2%	
マッチングプログラムコース同窓会	マッチングプログラムコース		16	6	6	37.5%	0	-	19	9	9	47.4%	0	-	19	9	9	47.4%	0	0.0%	学部等同窓会会費は入学時に徴収せず、卒業時に徴収							
合計			2,393	1,215	1,215	50.8%	1,151	48.1%	2,396	1,472	1,472	61.4%	1,383	57.7%	2,396	1,526	1,526	63.7%	1,431	59.7%								

※上記数値は、修正が入る可能性があります。

同窓生・在学生・留学生・教職員・教職員OB・一般の皆様へ



ぜひお越しください!

 岡山大学
OKAYAMA UNIV.

スーパーグローバル ホームカミングデー 2016

Okayama University
Super Global
Homecoming Day

岡山大学では毎年、大学の近況にふれ、同窓生、在学生、教職員との交流を深めていただくイベント「ホームカミングデー」を開催しておりますが、今年はさらにグローバル化に取り組む本学の活動を発信し、国内のみならず世界各地の帰国留学生による国際同窓会の代表者も招いて、交流の輪を世界に広げていくことを目的とし、新たに「スーパーグローバルホームカミングデー」として開催することとなりました。世界に輝き、地域に開かれた大学として、皆様のご来場をお待ちしております。

開催日 ● 2016年 **10月22日** (土)

場所 ● 岡山大学津島キャンパス他 (創立五十周年記念館および各学部他)

同日開催

岡山大学Alumni (全学同窓会) 総会
国際同窓会総会、岡山大学ミュージックフェスティバル

この日だけの特別な イベントいっぱい!

今年も学生の活躍や大学の取り組みを
身近に感じていただけるような
楽しい企画を多数ご用意します。

昨年開催した企画の一例

岡山大学ミュージックフェスティバル

- 学生の音楽系サークル8団体

岡山大学スーパーグローバルデー

- 国際同窓会等

飲食・雑貨などの模擬店

- 学生、同窓生、関係者

お茶席

- 茶道部

美術展

- 美術教育講座の学生

歓迎演奏

- 応援団総部

思い出茶屋

- 学生有志

うらじゃ演舞

- 学生 他

子ども向け企画 スライムづくりに挑戦!

- 学生企画チーム 岡プロ!

キャンパスウォークツアー

- 学生ガイド

講演会、研究室公開、懇親会

- 各学部

ウェルカムパーティー 他多数



募集!

応募 期日

スーパーグローバルホームカミングデー
2016の企画: 2016年5月末日まで
2017の企画: 2017年5月末日まで

岡山大学の同窓生、在学生、留学生、教職員、
教職員OBで本イベントの趣旨に沿った企画を
やってみたいという方を募集しています。

【企画の一例】

- 模擬店を出店したい。
- 研究室やクラスの同窓会を岡大の講義室で開催したい。
- 学生有志で同窓生をおもてなしする企画をやってみたい。
- サークルの学生とOBの交流試合を岡大の体育館で開催したい。 など

応募方法は、下記ホームページをご覧ください。

岡山大学 ホームカミングデー

SEARCH 🔍

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/alumni/homecoming2016.html>

イベントの詳細が決まりしだい、
右記ホームページに随時掲載します!

お問
合わせ先

岡山大学総務・企画部総務課

TEL:086-251-7019 FAX:086-251-7294

Email:ou-hcd@adm.okayama-u.ac.jp

※◎は@に置き換えてください。

〒700-8530岡山市北区津島中一丁目1番1号

ホーム
ページ

岡山大学

<http://www.okayama-u.ac.jp/>

岡山大学Alumni (全学同窓会)

<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~dousou/alumni/>

岡山大学Alumni(全学同窓会)会報

Alumni

vol.03
2016

Contents

- 2 岡山大学Alumniに寄せて
学生歌(昭和28年度)の誕生に関わって
- 3 岡山大学通信
- 4 Alumniの事業紹介
 - 1.Alumni(全学同窓会)総会
 - 2.Alumni支部からのお知らせ
 - 3.Alumniグローバル人材育成支援事業
- 9 アクティブ岡大人
- 10 回想記
岡山大学創設計画は
旧帝国大学構想として始まった
- 12 学生のサークル紹介
- 13 学部等同窓会からのお知らせ